

2025年度 現代英語学科 シラバス

目次

1.	教育課程(カリキュラムマップ)		3
2.	カリキュラムツリー		4
3.	1年生 年間予定表		6
4.	1年生 シラバス		8

開講科目	頁	開講科目	頁
日本語表現法	8	Speaking SkillsⅡ	40
心理学	9	Extensive Reading	41
Critical Thinking	10	Chorus English	43
情報処理	11	Vocabulary Building	44
数理リテラシー	12	海外研修	45
Oral CommunicationⅠ	13	ビジネスプロトコール	46
Oral CommunicationⅡ	16	秘書実務	47
ListeningⅠ	18	エアラインサービス	49
ListeningⅡ	21	フランス語Ⅰ	50
ReadingⅠ	25	キャリア形成演習Ⅰ	51
ReadingⅡ	29	キャリア形成演習Ⅱ	52
GrammarⅠ	33	基礎ゼミ	53
GrammarⅡ	35	TOEICⅠ	54
Speaking SkillsⅠ	39	STEPⅠ	55

5.	2年生年間予定表		58
6.	2年生 シラバス		60

開講科目	頁	開講科目	頁
World Mythology	60	English for Tourism	79
歴史と文化	61	English through Plays	80
法律入門	62	英米文学概論	81
現代の社会	63	英語史概論	83
Oral CommunicationⅢ	64	Teaching English to Children	85
Oral CommunicationⅣ	66	British Studies	86
ListeningⅢ	67	American Studies	87
ListeningⅣ	68	International Studies	88
ReadingⅢ	70	観光ビジネス論	89
ReadingⅣ	72	フランス語Ⅱ	90
Business Communication	73	TOEICⅡ	91
Essay Writing	74	STEPⅡ	92
Business Writing	77		

7.	ナンバリング		94
8.	学科教員一覧		97
9.	実務経験を有する教員一覧		97
10.	オフィスアワー、成績評価		98

1年次		2年次	
前期	後期	前期	後期
演習分野			
基礎ゼミ			
キャリア形成演習 I	キャリア形成演習 II		
	TOEIC I	TOEIC II	
	STEP I	STEP II	
専門教育分野			
海外研修(集中)		Business Communication	Business Writing
Chorus English	Extensive Reading	English for Tourism	
Speaking Skills I	Speaking Skills II	English through Plays	
	Vocabulary Building	英米文学概論	英語史概論
Grammar I	Grammar II		Essay Writing
Oral Communication I	Oral Communication II	Oral Communication III	Oral Communication IV
Listening I	Listening II	Listening III	Listening IV
Reading I	Reading II	Reading III	Reading IV
専門基礎科目		Teaching English to Children	
		British Studies	International Studies
		American Studies	
関連科目			
エアラインサービス(夏季集中)	フランス語 I	フランス語 II	観光ビジネス論
ビジネスプロトコール	秘書実務		
教養教育分野			
日本語表現法	心理学	World Mythology	歴史と文化
	Critical Thinking	現代の社会	法律入門
情報処理	数値リテラシー		

現代英語学科 1 年生

(2025年度入学生)

- 年間予定表
- シラバス

2025年度 現代英語学科1年生 年間予定表

前期

	日		月		火		水		木		金		土	
4月					1		2		3	入学式	4	オリエンテーション	5	
	6		7	健康診断	8	1	9	1	10	1	11	1	12	
	13		14	1	15	2	16	2	17	2	18	2	19	
	20		21	2	22	3	23	3	24	3	25	3	26	
	27		28	3	29	昭和の日	30		1		2		3	憲法記念日
5月	4	みどりの日	5	こどもの日	6	休日	7	4	8	4	9	4	10	
	11		12	4	13	4	14	5	15	5	16	5	17	
	18		19	5	20	5	21	6	22	6	23	6	24	
	25		26	6	27	6	28	7	29	7	30	7	31	
6月	1		2	7	3	7	4	8	5	8	6	8	7	
	8		9	8	10	8	11	9	12	9	13	9	14	
	15		16	9	17	9	18	10	19	10	20	10	21	
	22		23	10	24	10	25	11	26	11	27	11	28	
	29		30	11	1	11	2	12	3	12	4	12	5	
7月	6		7	12	8	12	9	13	10	13	11	13	12	
	13		14	13	15	13	16	14	17	14	18	14	19	
	20		21	海の日	22	14	23	15	24	15	25	15	26	
	27		28	14	29	15	30	月15	31	予備日	1	定期試験	2	
8月	3		4	追試	5		6		7	不合格者発表	8		9	
	10		11	山の日	12		13		14		15		16	
	17		18		19	再試験	20		21		22		23	海外研修
	24	海外研修	25	海外研修	26	海外研修	27	海外研修	28	海外研修	29	海外研修	30	海外研修
9月	31	海外研修	1	海外研修	2	海外研修	3	海外研修	4	海外研修	5	海外研修	6	海外研修
	7	海外研修	8		9		10		11		12		13	
	14		15	敬老の日	16	エアラインサービス	17	エアラインサービス	18	エアラインサービス	19	エアラインサービス	20	
	21		22		23	秋分の日	24		25		26		27	
	28		29	オリエンテーション 午後金曜授業	30	1								

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2025年度 現代英語学科1年生 年間予定表

後期

	日		月		火		水		木		金		土	
10月							1	1	2	1	3	1	4	
	5		6	1	7	2	8	2	9	2	10	2	11	
	12		13	スポーツの日	14	3	15	3	16	3	17	3	18	
	19		20	2	21	4	22	4	23	4	24	4 午後準備	25	せいよう祭
	26		27	3	28	5	29	5	30	5	31	5	1	
11月	2		3	文化の日	4	6	5	6	6	6	7	6	8	
	9		10	4	11	7	12	7	13	7	14	7	15	
	16		17	5	18	8	19	8	20	8	21	8	22	
	23	勤労感謝の日	24	休日	25	9	26	9	27	9	28	9	29	
12月	30		1	6	2	10	3	10	4	10	5	10	6	
	7		8	7	9	11	10	11	11	11	12	11	13	
	14		15	8	16	12	17	12	18	12	19	12	20	
	21		22	9	23	13	24	13	25	13	26		27	
	28		29		30		31		1	元日	2		3	
1月	4		5	10	6	14	7	14	8	14	9	13	10	
	11		12	成人の日	13	15	14	15	15	15	16	14	17	
	18		19	11	20	月12	21	月13	22	月14	23	15	24	
	25		26	15	27	予備日	28	定期試験	29	定期試験	30	追試	31	
2月	1		2		3		4		5		6	不合格者発表	7	
	8		9		10		11	建国記念の日	12	再試験	13		14	
	15		16		17		18		19		20		21	
	22		23	天皇誕生日	24		25		26		27		28	
3月	1		2		3		4		5		6		7	
	8		9		10		11		12		13		14	
	15		16		17		18		19		20	春分の日	21	
	22		23		24		25		26		27		28	
	29		30		31									

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●							
科目名	日本語表現法				単位認定者	徳田 幸雄		評価の方法	試験（筆記）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題	40 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	・日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 ・日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 ・目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴					日本語と英語との相違を考えてみよう。(20分程度)				
2	日本語の歴史					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
3	ことばと表現①(熟語、語句)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
5	敬語表現①(敬語の基本)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
7	話してみよう①(インタビューとショートスピーチ)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
8	話してみよう②(グループディスカッション)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
9	修飾語と被修飾語との関係①(原則論)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
10	修飾語と被修飾語との関係②(練習問題)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
11	句読点の打ち方(原則論)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
12	句読点を打つ練習と文章要約(境界の点)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
13	句読点を打つ練習と文章要約(逆転の点)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
14	意見文の書き方(4STEPS)					前回のチェック・テストの復習。(20分程度)				
15	意見文の作成と句読点を打つ練習									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	『日本語の作文技術（朝日文庫）』本多勝一著（朝日新聞出版） 『大学生のための日本語表現実践ノート』米田明美他著（風間書房）									
備考	授業内課題については、次回講義でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HSO-01				
			●	●						
科目名	心理学				単位認定者	真 覚 健		評価の方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人間を理解するため、自分をより知るために、心理学という学問を体系的に学ぶ。認知心理学をはじめ、認知発達及び社会発達、パーソナリティー、社会心理学といった主な領域を中心に、心理学全般における理解と基礎的知識の修得を目指す。									
到達目標	1：心理学の基礎的知識について説明できる。 2：心理学的な見方や考え方を理解し、説明できる。 3：社会に対する心理学の役割について説明できる。									
学修者への期待等	資料をあらかじめ配布するので事前に熟読すること。 日常生活で経験する事象と結びつけて理解するよう期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	心理学とは（心理学と自然科学）					心を科学的に扱うための工夫、心理学の対象について調べておくこと（1時間程度）				
2	感覚と知覚					感覚的順応、恒常性、対比と同化について調べておくこと（1時間程度）				
3	知覚と認知					奥行き知覚、運動知覚について調べておくこと（1時間程度）				
4	発達1：遺伝と環境					発達における遺伝と環境の影響について調べておくこと（1時間程度）				
5	発達2：発達の基本的諸相					幼児期・児童期の特徴について調べておくこと（1時間程度）				
6	学習1：随伴性学習（古典的条件づけ・道具的条件づけ）					古典的条件づけ・道具的条件づけについて調べておくこと（1時間程度）				
7	学習2：技能学習・社会的学習					技能学習・社会的学習について調べておくこと（1時間程度）				
8	記憶1：記憶の過程、短期記憶、長期記憶					短期記憶・長期記憶の特徴について調べておくこと（1時間程度）				
9	記憶2：忘却、記憶の変容					忘却や記憶の変容について、調べておくこと。各自の経験についても考えておくこと（1時間程度）				
10	パーソナリティ1：パーソナリティの理論					類型論と特性論について調べておくこと（1時間程度）				
11	パーソナリティ2：パーソナリティの測定方法					パーソナリティ検査について調べておくこと（1時間程度）				
12	情動1：情動の理論					基本感情について調べておくこと（1時間程度）				
13	情動2：表情					表情の表示規則について調べておくこと（1時間程度）				
14	対人認知					他者をどのように理解するかについて調べておくこと（1時間程度）				
15	日常生活上の問題（外見に関する問題）					ルッキズムについて調べておくこと（1時間程度）				
教科書	特に指定しません。資料は配付します。									
参考文献	特になし。									
備考	毎回レスポンスシートへの回答を求め、次回の授業でフィードバックを行う。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
		●	●		●	CE-0-HSO-02					
科目名	Critical Thinking				単位 認定者	相田 明子		評価 の方法	授業内課題（ミニッツペーパー、レポート等）	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度（ディスカッションへの参加・貢献度）	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、物事について熟考する意識を持ち、「事実」と「意見」を分けることを理解し、適切な論拠や相応しい証拠に基づいた主張が出来るようになることである。さらに、主張に対する説得力を高めるために有効な証拠と、そうでないものを区別し、その理由を説明することが出来るようになる。										
到達目標	・ジェンダーとはなにかを理解し、社会がどのようにジェンダー化されているのかを説明できる。 ・映画や文学作品を通して、文化におけるジェンダーの構築について理解し、説明したり批評することができる。 ・主体的なものの見方・考え方ができる。										
学修者への期待等	・ディスカッションやペアワークへの積極的な参加・貢献が期待されます。 ・ジェンダーについて学びを深め、物事を批判的に思考することに意義を見出してください。										
回	授業計画					準備学修					
1	・授業のイントロダクション（進め方とルール） ・ジェンダーとはなんだろう					本シラバスをよくよんでおく					
2	・ジェンダーと社会、ジェンダーと文化					配布プリントを読む、不明瞭な用語や語彙は図書館等で調べておく。ジェンダーについてまとめる（概ね60分）					
3	・ジェンダーの理解について確認する（ディスカッション） ・『白雪姫』（1937）を視聴し、感想や意見をまとめる					配布プリントを読む、不明瞭な用語や語彙は図書館等で調べておく。ジェンダーについてまとめる（概ね60分）					
4	・『白雪姫』について、視聴後のディスカッション ・プリンセス願望とは					『白雪姫』視聴後の「感想」と「作品批評」について、まとめておく（概ね30分）					
5	・フェアリー・テイルの成り立ちとシャルル・ペロー ・“Little Red Riding Hood”（英文）を精読する					配布された“Little Red Riding Hood”を辞書を使って読んでおく（概ね60分）					
6	“Little Red Riding Hood”「Moral（教訓）」について適切な和訳をつけ、内容について話し合う（ディスカッション）					シャルル・ペローについて学んだことをまとめ、そのうえで“Moral”を和訳する（概ね30分）					
7	シャルル・ペローとグリム兄弟について学び、両者（作品を）を比較・考察する、中間レポートの主題発表					“Little Red Riding Hood”について、ノートをまとめる。作者・時代背景をふまえて作品を「批評」してみる（概ね60分）					
8	『シンデレラ』（1950）を視聴し、感想や意見をまとめる					配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）					
9	『シンデレラ』について、ディスカッションとプレゼンテーション（シンデレラコンプレックス）					シンデレラコンプレックスについて調べておく（概ね30分）					
10	ジェンダーとフェアリーテイル（講義とディスカッション）					配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）					
11	商業主義とジェンダー（講義とディスカッション）					配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）					
12	ポストフェミニズム（講義とディスカッション）					配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）					
13	映画『エバー・アフター』（1998）（前半部）を視聴、要点をメモしながら内容をまとめる					ここまでの受講内容をふりかえっておく。ポストフェミニズムについて、学んだことをまとめておく。（概ね30分）					
14	映画『エバー・アフター』（後半部）を視聴し、『シンデレラ』との相違について話し合う、最終レポートの主題発表					配布されたプリントを読み、内容をまとめておく（概ね30分）					
15	・ふりかえり：Critical Thinkingとは ・グループディスカッション					受講内容をふりかえっておく。最終レポートについて質問があれば準備しておく。（概ね30分）					
教科書	教員が作成したプリントを随時配布する。										
参考文献	授業中に指示する。										
備考	レポート課題は授業内で発表する。中間レポートは返却する。プレゼンテーション内容等について、授業内でフィードバックをする。状況により遠隔授業に変更する場合がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSC-01				
	●									
科目名	情報処理				単位認定者	氏家 留美子		評価の方法	試験（筆記）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。									
到達目標	パソコンの基本操作を修得し、Word・Excel・PowerPointの効率的な使用能力を身につける。 ◆Word：書式設定や印刷設定を適切に使える。表・図形・写真を取り入れた表現力のある文書を作成できる。 ◆Excel：書式設定をして表を整えることができる。適切な計算式や関数を使える。グラフを作成できる。 ◆PowerPoint：プレゼンテーションについて理解し、訴求力のあるスライド作成とスライドショー実施ができる。 さまざまなITツールの活用で、情報を整理・評価し、ICTを活用した情報分析が出来るようになる。									
学修者への期待等	基本から応用操作まで、学生が自身のスキルを見つめ直し成長することを期待する。 操作に不慣れな学生は、この機会に基礎を固めること。既にスキルを持つ学生もさらなる向上を目指してほしい。操作がわからない部分は、演習中に質問して確実に理解を深めること。 教材データを保存するために、USBメモリを授業2回目以降で使用する。授業1回目の時にUSBメモリについては詳しく説明するので、2回目の授業までに各自準備しておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Word（実技）：ビジネス文書の基礎知識（ビジネス文書の構成と作成方法）					【予習について】 マウス操作・入力操作は各自できるようにして授業に臨むこと。特に入力操作が苦手な場合は、タイピングの練習をして技術を向上させること。（30分程度） 【復習について】 Word・Excelは、はじめは基礎内容から入り、段階的に応用内容に進んでいくため、各回の内容をしっかりと身につけ、次の授業へ臨むこと。 授業内に完成しなかった作成物は、次回までに完成しておくこと。 これまでの経験によって、パソコンスキル（技能）は異なるため、自分の現在のスキルを把握し、学修したパソコン操作が身につけていないと感じる場合は、授業で作成したものを繰り返し操作して復習すること。（各自のスキルにより30分～1時間程度）				
2	Word（実技）：Wordの基本操作（書式設定・印刷設定） 情報セキュリティ：脅威が与える影響とセキュリティ対策									
3	Word（実技）：情報の整理（表を用いた文書作成）									
4	Word（実技）：いろいろな書式設定の活用方法（段落の網かけ・均等割り付け・ルビ・囲い文字・傍点・段組み・ヘッダーフッター）									
5	Word（実技）：文書の表現力アップ（イラスト・写真・ワードアート・図形描画）									
6	Word（実技）：レポートなどの長文作成をサポートする操作（見出しスタイルの利用・目次作成・検索・置換） 著作権の知識：著作権の概念・著作権侵害・引用のルール									
7	PowerPoint（実技）：プレゼンテーションの構成・箇条書きや表を用いた情報の整理・図形や画像の効果的な利用法・スライドショーの実施・印刷設定									
8	PowerPoint（実技）：アニメーションの設定・図解表現の手法・指示するテーマで、伝わるプレゼンテーションの課題作成									
9	Excel（実技）：Excelの基本操作（四則演算・SUM、AVERAGE関数・書式設定・行列操作・表示形式・印刷設定）									
10	Excel（実技）：数式を効率的かつ正確に作る（相対参照と絶対参照の使い分け）									
11	Excel（実技）：数値を評価するための基本的関数（MAX・MIN・COUNT・COUNTA）									
12	Excel（実技）：データを視覚的に分析・評価（グラフ作成）									
13	Excel（実技）：基準に基づくデータの整理や抽出（データベースのしくみ・並べ替え・フィルター）									
14	Excel（実技）：データを条件付きで処理・集計（IF・COUNTIF・SUMIF関数など） 関数のまとめ①（データの評価・集計するための関数の活用）									
15	Excel（実技）：特定の値を基に検索とデータ取得（VLOOKUP関数など） 関数のまとめ②（データの整理・分析するための関数の活用）									
教科書	『30時間アカデミック Office2021 Windows11対応』 杉本くみ子／大澤栄子 著 実教出版（ISBN：978-4-407-35943-5）									
参考文献	進行に応じてプリントを配付する。									
備考	「試験」は、Word・Excel・PowerPointの使用方法に関する筆記試験を行う。 「課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。内容を確認し、以後の授業で講評する。 情報処理室で授業を実施する。パソコンの操作手順を示す際に講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム（SkyClassesMng）を利用する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果						科目ナンバリング CE-0-HSC-01												
1 基礎力						2 実践力		3 人間関係力		4 生涯学習力		5 地域理解力						
●																		
科目名		数理リテラシー				単位 認定者		本田 俊夫		評価 の方法	試験（筆記）		70 %					
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科		必修		1 年		開講時期	後期			単位数		1 単位		受講態度		30 %	
											授業時間数		16 時間					
							授業形態		演習		授業回数		8 回					
授業の概要		基本的な数学用語の意味、記号、計算法を理解し、日常的で身近な具体例と数学との関連を学び、数理処理能力の向上に必要な基礎的知識を身につける。																
到達目標		数学の基礎・基本を身につけ、数式・表・グラフ等の活用を通して数学的処理の“良さ”を知ることにより、統計学、数学、コンピュータサイエンス、人工知能など今後の社会に必要とされる数理的思考やデータ分析・活用能力の土台を身につける。																
学修者への期待等		日常でよく使う計算、算数・数学的な考え方とデータについての基本を習得するための科目です。授業後は1時間程度の復習をし、考え方や処理が不明の箇所がある場合は積極的に質問してください。受講時は、自分でやってみる、他者と協力して考えることを通じ、自分が理解したことを相手に伝え、また、わからない部分はヒントを手掛かりにして自ら解決する力を身につけて欲しい。																
回		授業計画						準備学修										
1		「加減乗除の計算」 整数・小数・分数						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
2		「方程式・不等式」						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
3		「数的推理①」 和と差、割合						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
4		「数的推理②」 売買・損益						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
5		「平面図形」 角と面積						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
6		統計の基礎① データの分布と代表値、ばらつき						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
7		統計の基礎② データの標準化						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
8		統計の基礎③ 推定と検定						授業内容をよく復習して理解すること（概ね30分～1時間）。										
教科書		毎回プリントを配布します。																
参考文献																		
備考		授業後半に確認のための演習課題を実施する。なお、課題については授業内にフィードバックを行う。																

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク (Aクラス)		評価の方法	授業内課題等(小テスト、 ふりかえり、発表等)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得できる。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参して下さい。授業内でおこなうグループワークと ディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。尚、Unit を終える度に Review Quiz を課す。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1 Talking about yourself ① Where are you from? グループワーク・ペアワークを中心に活動する					Unit 1: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 1 Talking about yourself ② Where do you study? グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
3	Unit 2 Talking about family ① Who is in your family? グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(1)					Unit 2: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 2 Talking about family ② What are they like? グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
5	“Presentation 1” の準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしていくこと。(概ね1時間)				
6	“Presentation 1” のプレゼンテーションを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する									
7	Unit 3 Talking about times and dates ① What time is it? グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(2)					Unit 3: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	Unit 3 Talking about times and dates ② When are you free? グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
9	Unit 4 Talking about daily life ① What do you usually do? グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(3)					Unit 4: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	Unit 4 Talking about daily life ② When do you do things? グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
11	Unit 5 Talking about likes and dislikes ① What do you like? グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(4)					Unit 5: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	Unit 5 Talking about likes and dislikes ② How much do you like it? グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
13	Unit 1～5 Review					Unit 1～5の内容を復習していくこと。 (概ね1時間)				
14	“Presentation 2” の準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしていくこと (概ね1時間)				
15	“Presentation 2” のプレゼンテーションを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する									
教科書	The English Course Speaking Starter 2nd Edition. Gary Ireland. Max Woollerton. The English Company									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位認定者	スミス アンソニー (Bクラス)		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内で行われるグループワーク、及びプレゼンテーションに備え、発信力を培うためのトレーニングをすること。尚、Unit を終える度に Review Quiz を課す。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1. Welcome to Vancouver (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 1. Welcome to Vancouver (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
2	Unit 2. Ryo Loves San Francisco (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 2. Ryo Loves San Francisco (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
3	Unit 3. A British City in Canada? (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 3. A British City in Canada? (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
4	Unit 4. L.A. Style (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 4. L.A. Style (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
5	Unit 5. The Canadian Rockies (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 5. The Canadian Rockies (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
6	Unit 6. The Grand Canyon (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 6. The Grand Canyon (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
7	Unit 7. T.O.— Toronto, Ontario (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 7. T.O.— Toronto, Ontario (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2,) を予習する。（概ね30分）				
8	Unit 8. Big Texas (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 8. Big Texas (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
9	Unit 9. Ottawa -- The Capital (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 9. Ottawa -- The Capital (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) を予習する。（概ね30分）				
10	Unit 10. Funky New Orleans (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.					Unit 10. Funky New Orleans (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2,) を予習する。（概ね30分）				

回	授業計画	準備学修
11	Unit 11. Charming Quebec City (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.	Unit 11. Charming Quebec City (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2)を予習する。(概ね30分)
12	Unit 12. Florida Sunshine (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.	Unit 12. Florida Sunshine (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2)を予習する。(概ね30分)
13	Unit 13. A Taste of P.E.I. (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.	Unit 13. A Taste of P.E.I. (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2)を予習する。(概ね30分)
14	Unit 14. N.Y.C. -- The Big Apple (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.	Unit 14. N.Y.C. -- The Big Apple (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2)を予習する。(概ね30分)
15	Unit 15. Niagara Falls (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2) Pairwork plus Quiz.	Unit 14. Niagara Falls (Getting Ready A & B, Conversation A & B, Grammar Checking A & B, Reading, Mission 2)を予習する。(概ね30分)
教科書	<i>English Missions! (Starter)</i> Robert Hickling/Misato Usukura (金星堂) ISBN978-4-7647-4070-9	
参考文献	特になし	
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-02				
	●	●								
科目名	Oral CommunicationⅡ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク (Aクラス)		評 価 の 方 法	授業内課題等(小テスト、ふりかえり、発表等)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Oral CommunicationⅠ」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング、リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙、熟語、慣用句等の知識を培い、多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また、グループインタラクションを通して、「話題の引き出し」を増やしていく。併せて、相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等、コミュニケーションの技法も修得する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得できる。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参して下さい。授業内でおこなうグループワークと ディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 6 Describing people ① What do they look like?グループワーク・ペアワークを中心に活動する					Unit 6: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 6 Describing people ② What are they like?グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
3	Unit 7 Describing locations and giving directions ① Where is it?グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(6)					Unit 7: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 7 Describing locations and giving directions ② How to get there?グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
5	“Presentation 1”の準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)				
6	“Presentation 1”のプレゼンテーションを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する									
7	Unit 8 Talking about other countries ① What language do they speak グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(7)					Unit 8: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	Unit 8 Talking about other countries ② Where is it?グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
9	Unit 9 Talking about the future ① What do you want to do in the future?グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(8)					Unit 9: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	Unit 9 Talking about daily life ② What will happen in the future?グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
11	Unit 10 Talking about likes and dislikes ① What do you like?グループワーク・ペアワークを中心に活動する Review Quiz(9)					Unit 10: 授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	Unit 10 Talking about likes and dislikes ② How much do you like it?グループワーク・ペアワークを中心に活動する									
13	Unit 6～10 Review					Unit 6～10の内容を復習してくること。 (概ね1時間)				
14	“Presentation 2”の準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね1時間)				
15	“Presentation 2”のプレゼンテーションを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する									
教科書	The English Course Speaking Starter 2nd Edition. Gary Ireland, Max Woollerton. The English Company									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-1-EBA-02				
	●	●								
科目名	Oral Communication II				単位 認定者	スミス アンソニー (Bクラス)		評価 の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「Oral Communication I」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング，リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙，熟語，慣用句等の知識を培い，多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また，グループインタラクションを通して，「話題の引き出し」を増やしていく。併せて，相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等，コミュニケーションの技法も修得する。									
到達目標	使用するテキストは、中級レベルの英語学習者を対象としたものである。各ユニットで紹介されている身近な話題について自らの意見を相手に伝え、自由にディスカッションできるスキルを養う。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。尚、毎回グループワークとしてDiscussionを行う。授業の前に必ず予習しておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1. Food (Talk about it, Pairwork)					Unit 1. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
2	Unit 2. Japan (Talk about it, Pairwork)					Unit 2. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
3	Unit 3. Shopping (Talk about it, Pairwork)					Unit 3. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
4	Unit 4. Music (Talk about it, Pairwork)					Unit 4. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
5	Unit 5. Transportation (Talk about it, Pairwork)					Unit 5. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
6	Unit 6. The Salaryman and Work (Talk about it, Pairwork)					Unit 6. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
7	Unit 7. Family (Talk about it, Pairwork)					Unit 7. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
8	Unit 8. Travel (Talk about it, Pairwork)					Unit 8. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
9	Unit 9. Europe (Talk about it, Pairwork)					Unit 9. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
10	Unit 10. Famous People (Talk about it, Pairwork)					Unit 10. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
11	Unit 11. Sports (Talk about it, Pairwork)					Unit 11. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
12	Unit 12. Home (Talk about it, Pairwork)					Unit 12. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
13	Unit 13. Health (Talk about it, Pairwork)					Unit 13. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
14	Unit 14. Entertainment (Talk about it, Pairwork)					Unit 14. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
15	Unit 15. Animals (Talk about it, Pairwork)					Unit 15. Talk about it を予習する。(概ね30分)				
教科書	Let's Talk About It 1,000 Questions for Conversation Craig Drayton, Mark Gibbon (Pearson Longman)									
参考文献	特になし									
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位 認定者	スミス アンソニー (Aクラス)		評価 の方法	授業内課題、 及び小テスト	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	基礎的なリスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1: Roommates (Describing Personal Qualities/Asking about Problems)、リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
2	Unit 1: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (1)					Unit 1:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				
3	Unit 2: Checking Out (Making Suggestions/Giving Warnings) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
4	Unit 2: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (2)					Unit 2:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				
5	Unit 3: Get in Shape (Discussing Health) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
6	Unit 3: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (3)					Unit 3:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				
7	Unit 4: Money Management (Describing Financial Situations/Talking about Your Budget) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
8	Unit 4: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (4)					Unit 4:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				
9	Unit 5: Close Ties (Expressing Surprise/Talking about Progress) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
10	Unit 5: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (5)					Unit 5:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				
11	Unit 6: Time to Celebrate (Making and Responding to Invitations) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間）				
12	Unit 6: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (6)					Unit 6:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7: Animals in Danger (Being Frank and Joking/Showing Understanding) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 7:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間)
14	Unit 7: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(7)	Unit 7:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間)
15	Unit 8: A Fine Art (Talking about Natural Talents) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 8:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間)
教科書	「New Connection Book 2 (CEFR A2-B1)」 成美堂	
参考文献	特になし	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する 場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位認定者	ジョーンズ ドミニク (Bクラス)		評価の方法	授業内課題等(小テスト、ふりかえり)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	基礎的なリスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図を理解し、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようにする。									
学修者への期待等	日常生活や公共の場で遭遇する話題・出来事を題材に、情報を正確に聴き取る練習を繰り返し行います。集中力を高めて授業に臨みましょう。また、リスニング力を向上させるためには、語彙・英語表現を習得することも重要です。新出語彙や文法に関する知識を、自ら進んで学ぶ意欲が期待されます。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit 0 Welcome to English Firsthand リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 0の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 1 It's nice to meet you リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
3	Unit 2 Who are they talking about リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 3 When do you start? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
5	Unit 4 Where does thius go? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
6	Unit 5 How do I get there? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
7	Unit 6 What happened? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 1～6で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
9	Unit 7 I'd love that job リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 7の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	Unit 8 What's playing? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 8の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
11	Unit 9 What are you going to do? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 9の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	Unit 10 How much is this? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 10の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
13	Unit 11 How do you make it? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 11の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
14	Unit 12 Listen to the music? リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 12の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
15	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 7～12で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
教科書	English Firsthand 1 with My Mobile World (5th Ed). Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown. Pearson									
参考文献	講義の際に指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-04				
	●	●								
科目名	Listening II				単位 認定者	スミス アンソニー (Aクラス)		評価 の方法	授業内課題、及 び小テスト	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	リスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	Listening I と同様に、授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 8: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(8)					Unit 8:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
2	Unit 9: Tune In (Relaxing) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 9:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
3	Unit 9: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(9)					Unit 9:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
4	Unit 10: Music to Our Ears (Discussing Success/Talking about Influence) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 10:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
5	Unit 10: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(10)					Unit 10:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
6	Unit 11: Study Abroad (Talking about Easy and Difficult Things/Expressing Worry) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 11:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
7	Unit 11: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(11)					Unit 11:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
8	Unit 12: Technology and You (Expressing Function/Disucussing Technology) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 12:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
9	Unit 12: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(12)					Unit 12:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
10	Unit 13: Right and Wrong (Sharing Information/Showing Anger) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 13:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
11	Unit 13: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(13)					Unit 13:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
12	Unit 14: Your Career Starts Now (Giving Encouragement/Discussing Possibility) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 14:Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
13	Unit 14: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。 Review Quiz(14)					Unit 14:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				

回	授業計画	準備学修
14	Unit 1～7の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 1～7で学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
15	Unit 8～14の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 8～14で学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
教科書	「New Connection Book 2 (CEFR A2-B1)」 成美堂	
参考文献	特になし	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する 場合がある。授業内課題、小テスト等は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-04				
	●	●								
科目名	Listening II				単位認定者	相田 明子 (Bクラス)		評価の方法	授業内課題 (Review Quiz、 ふりかえり)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	基礎的なリスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	Listening I 同様、日常生活や公共の場で遭遇する話題・出来事を題材に、情報を正確に聴き取る練習を繰り返し行います。集中力を高めて授業に臨みましょう。ペア・ワーク等で演習問題に取り組むことで理解度を深めます。また、リスニング力を向上させるためには、語彙・英語表現を習得することも重要です。新出語彙や文法に関する知識を、自ら進んで学ぶ意欲が期待されます。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明 Unit 1 : Meeting People (挨拶や自己紹介に関する英語表現)、リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。					Unit 1 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(1時間程度)				
2	Unit 2 : Time to Eat (食べ物、栄養、食事に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 1 Review Quiz					Unit 2 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 1 Review Quizの準備 (1時間程度)				
3	Unit 3 : Living with Technology (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 2 Review Quiz					Unit 3 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 2 Review Quizの準備 (1時間程度)				
4	Unit 4 : Shopping for Clothes (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 3 Review Quiz					Unit 4 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 3 Review Quizの準備 (1時間程度)				
5	Unit 5 : A Helping Hand and Home (電化製品や価格に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 4 Review Quiz					Unit 5 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 4 Review Quizの準備 (1時間程度)				
6	Unit 6 : Going Places (乗り物、交通機関、道案内に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 5 Review Quiz					Unit 6 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 5 Review Quizの準備 (1時間程度)				
7	Unit 7 : Not Feeling So Good (痛み・疾病、医者への予約に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 6 Review Quiz					Unit 7 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 6 Review Quizの準備 (1時間程度)				
8	Unit 8 : The Big Screen (映画に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 7 Review Quiz					Unit 8 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 7 Review Quizの準備 (1時間程度)				
9	Unit 9 : How do you feel? (自己の感情や体調を描写する際によく使う英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 8 Review Quiz					Unit 9 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 8 Review Quizの準備 (概ね1時間程度)				
10	Unit 10 : All in Good Fun (好き・嫌いを使って自分の意見を言う、相手の意見を伺う) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 9 Review Quiz					Unit 10 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 9 Review Quizの準備 (1時間程度)				
11	Unit 11 : Game Time (スポーツに関する語彙、助言の仕方に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 10 Review Quiz					Unit 11 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。Unit 10 Review Quizの準備 (1時間程度)				
12	Unit 12 : Rain or Shine (天候に関する語彙、天気予報で使われる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。Unit 11 Review Quiz					Unit 12 : Vocabulary、Language Focus、Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(1時間程度)				

回	授業計画	準備学修
13	Unit 13 : Eating Out (外食をする際に使用する語彙、注文の仕方や食事での会話表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。 Unit 12 Review Quiz	Unit 13 : Vocabulary、 Language Focus、 Grammar のパートを辞書を使って読んでおく。(1時間程度)
14	Unit 14 : School Life (職業に関する語彙、目標の設定や問題解決の際に用いる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する。Unit 13 Review Quiz	Unit 14 : Vocabulary、 Language Focus、 Grammar のパートを辞書を使って読んでおく。(1時間程度)
15	ふりかえり : Unit 1～14の理解度をふりかえりテストにて確認する。	該当範囲を復習し、疑問点を抽出しておく(2時間程度)
教科書	『New Connection Book 1 (CEFR A1-A2)』 Teruhiko Kadoyama 他、 成美堂	
参考文献	講義の際に指示する。	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。Quiz等は返却時に指導する。遅刻は授業開始10分以内とする。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
	●	●				CE-1-EBA-05					
科目名	Reading I				単位 認定者	小松 義隆 (Aクラス)		評価 の方法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。										
到達目標	学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげる。										
学修者への期待等	英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では科学・技術系の問題に焦点をあてた読み物を扱っているテキストを通し、学修を進めていく。人文科学の分野に興味がある学生にも身近に感じられるトピックで構成されているため、各自が周辺調査をすることで現在話題になっている事柄にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつけられるようになる。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を毎回の授業で扱い、後期に開講されるReadingⅡまで継続して使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱うトピック、語源等に興味をもって参加することを期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit 1 Space Invaders—The evolution of Video Games 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1					「はじめに」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 テキストP. 6～9までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
2	Unit 2 What a Waste!—Food Loss and Food Waste 「英単語の語源図鑑」Chapter 1 part 2					テキストP. 10～13までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
3	Unit 3 Amory Lovins and Soft Technology 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 1					テキストP. 14～17までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
4	Unit 4 Lithium-ion Batteries—The Quest for Clean Power 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 2					テキストP. 18～21までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
5	Unit 5 Todai Robot Project 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 1					テキストP. 22～25までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
6	Unit 6 News Literacy—Watchdog or Cheerleader? 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 2					テキストP. 26～29までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
7	Unit 7 Hayabusa-2—A Triumph for Public-Private Exploration 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 1					テキストP. 30～33までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
8	Unit 8 Dr. Noriyuki Kawahara and Rocinantes 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 2					テキストP. 34～37までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
9	Unit 9 Biomimicry in Japanese design 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 1					テキストP. 38～41までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
10	Unit 10 What Plagues us 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 2					テキストP. 42～45までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
11	Unit 11 A Cupful of Ideas 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 1					テキストP. 46～49までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					
12	Unit 12 Inclusion for Innovation 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 2					テキストP. 50～53までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
13	Chapter 13 Ethical Shopping—The Choice is Yours 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 1	テキストP. 54～57までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）
14	Unit 14 The Social Dilemma 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 2	テキストP. 58～61までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）
15	Unit 15 Bill Gates and the Green Premium	テキストP. 62～65までを予習しておくこと 「英単語の語源図鑑」対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1時間）
教科書	『Reading Insight』松尾 秀樹、Alexander A. Bodnar他 2022 三修社 『英単語の語源図鑑』清水健司、すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05					
	●	●									
科目名	Reading I				単位 認定者	小松 義隆 (Bクラス)		評 価 の 方 法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>受講態度</td> <td>30</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。										
到達目標	1. 学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。 2. 段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。 3. 辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげることができる。										
学習者への期待等	英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では「全体的な構造を考えながら英文エッセイを読む」をコンセプトとし、論理展開に沿ったPassageを読むことで読解力を身につけるテキストに基づいて学修を進めていく。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を毎回の授業で扱い、後期に開講されるReadingⅡまで継続使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容（テキストのトピック・語源等）に興味をもって参加することを期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Part I-1 Conclusion / Reasons 理由で押し切る！ 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1					「はしがき」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 テキストp.11-14の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
2	Part I-2 Social Trend 社会事象を考える 「英単語の語源図鑑」Chapter 1 part 2					テキストp.15-18の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
3	Part I-3 Result / Cause 原因を究明する 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 1					テキストp.19-24の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
4	Part II-4 Several Explanations いくつかの説明 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 2					テキストp.25-28の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
5	Part II-5 Comparison 比較してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 1					テキストp.29-32の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
6	Part II-6 For and Against 賛成と反対 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 2					テキストp.33-36の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
7	Part II-7 Classification 分類してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 1					テキストp.37-42の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
8	Part III-8 History 歴史を知ろう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 2					テキストp.43-46の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
9	Part III-9 Process 歴史を知ろう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 1					テキストp.47-50の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
10	Part III-10 Cause and Effect 原因と結果 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 2					テキストp.51-56の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
11	Part IV-11 Definition of a New Word 新しい言葉を説明しよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 1					テキストp.57-60の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					
12	Part IV-12 Research 調査してみよう！ 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 2					テキストp.61-64の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)					

回	授業計画	準備学修
13	Part IV-13 New Products, New Service 新製品・新サービス 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 1	テキストp.65-68の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)
14	Part IV-14 Reading Graphs グラフを読む 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 2	テキストp.69-73の内容を予習する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)
15	既習範囲のまとめと確認	これまでの授業で学修した範囲の確認 (概ね1.5時間)
教科書	『Skills for Better Reading <Basic>』石谷 由美子 2018 南雲堂 『英単語の語源図鑑』清水健司、すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題(各回の訳等)はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング	
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06	
	●	●					
科目名	Reading II				単位 認定者	小松 義隆 (Aクラス)	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位
						授業時間数	30 時間
				授業形態	講義	授業回数	15 回
授業の概要	「Reading I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキミング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早的確に把握できる能力を培う。						
到達目標	「Reading I」より専門的・高度になった内容を扱う。多種多様なトピックに関して、世界に発信・共有する価値のある概念をプレゼンテーションする番組、TED Talkをとり上げたテキストを使用し、口語英語の文体に慣れ、内容を正確に把握できるようになる。口語英語を読み解き訳することで通訳に必要な素養について自分たちで考え、内容を自然な日本語にまとめることができるようになる。						
学修者への期待等	プレゼンテーションで使用される口語表現に慣れ、プレゼンテーションの構成を参考にしてください。プレゼンターは基本的に早口で専門的な語彙を使用しています。発表の中には言葉の間違いや言い直し、ジョークの類も多々出てきますが、それぞれの内容に興味をもって取り組んでください。そして自然な日本語に変換することを意識してください。インターネットや辞書等を活用し、各トピックや記事の周辺情報も調べてください。前期から使用している『英単語の語源図鑑』を継続して使用することになります。						
回	授業計画				準備学修		
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Unit 1 LIFE CHANGES Lesson A: The Power to Change (Matt Cutts) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 7 part 1				テキストの使い方WHAT IS 21st CENTURY READINGに目を通す 授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
2	Unit 1 LIFE CHANGES Lesson B: Try Something New for 30 Days(3:24) (Matt Cutts) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 7 part 2				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
3	Unit 2 TEAM POWER Lesson A: The Marshmallow Challenge 『英単語の語源図鑑』 Chapter 7 part 3				授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
4	Unit 2 TEAM POWER Lesson B: Build a Tower, Build a Team(6:48) (Tom Wujec) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 8 part 1				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
5	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson A: Message from the Sea 『英単語の語源図鑑』 Chapter 8 part 2				授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
6	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson B: Underwater Astonishments(5:21) (David Gallo) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 8 part 3				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
7	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson A: The Science of Style 『英単語の語源図鑑』 Chapter 9 part 1				授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
8	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson B: Wear Nothing New(5:21) (Jessi Arrington) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 9 part 2				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
9	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson A: Preserving the Past 『英単語の語源図鑑』 Chapter 9 part 3				授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
10	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-1: One Second Every Day(7:59) (前半部分) (Cesar Kuriyama) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 10 part 1				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson B-1の予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
11	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-2: One Second Every Day(7:59) (後半部分) (Cesar Kuriyama) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 10 part 2				授業計画に対応するTED Talkを見ておく。Lesson B-2の予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		
12	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson A: Going Viral 『英単語の語源図鑑』 Chapter 11 part 1				授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）		

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson B: Why Videos Go Viral(7:16) (Kevin Allocca) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 11 part 2	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）
14	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson A: Art in the Community 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 1	授業計画に対応するLesson Aの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）
15	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson B: Before I Die, I Want To...(6:16) (Candy Chang) 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 2	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 「英単語の語源図鑑」 対応箇所をまとめてUNIPAに提出すること（概ね1.5時間）
教科書	『21st CENTURY READING LEVEL 1』 Robin Longshaw・Laurie Blass 2015 National Geographic Learning/Cengage Learning 『英単語の語源図鑑』 清水健司、すずきひろし かんき出版 並行しXreadingを使用し、多読を実践する	
参考文献	『続英単語の語源図鑑』 清水健司・すずきひろし 2019 かんき出版	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06				
	●	●								
科目名	Reading II				単位認定者	小松 義隆 (Bクラス)		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>受講態度</td> <td>30 %</td>	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	「Reading I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早く的確に把握できる能力を培う。									
到達目標	1. 学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。 2. 段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。 3. 辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげることができる。									
学修者への期待等	オンライン英字新聞Time for Kidsの記事をとりあげる。Up-to-dateな時事ネタを読み、周辺調査をすることで社会情勢にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつける。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」をReading Iの授業から継続使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容（テキストのトピック・語源等）に興味をもって参加することを期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Time for Kids ① Article 1 (初回授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 1					Time for Kids記事を初回授業時に配布する。 「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
2	Time for Kids ② Article 2 (初回授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 2					1回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
3	Time for Kids ③ Article 3 (2回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 3					2回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
4	Time for Kids ④ Article 4 (3回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 1					3回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
5	Time for Kids ⑤ Article 5 (4回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 2					4回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
6	Time for Kids ⑥ Article 6 (5回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 3					5回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
7	Time for Kids ⑦ Article 7 (6回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 9 part 1					6回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
8	Time for Kids ⑧ Article 8 (7回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 9 part 2					7回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
9	Time for Kids ⑨ Article 9 (8回目授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 9 part 3					8回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
10	Time for Kids ⑩ Article 10 (9回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 10 part 1					9回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習、「英単語の語源図鑑」対応箇所（概ね1.5時間）				
11	Time for Kids ⑪ Article 11 (10回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 10 part 2					10回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
12	Time for Kids ⑫ Article 12 (11回目の授業終了時に配布) グループ別記事内容（および周辺情報）発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 11 part 1					11回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
13	Time for Kids ⑬ Article 13 (12回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 11 part 2	12回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
14	Time for Kids ⑭ Article 14 (13回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺情報) 発表 「英単語の語源図鑑」Chapter 12 part 1	13回目の授業時終了時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
15	既習範囲の総まとめと確認 「英単語の語源図鑑」Chapter 12 part 2	既習範囲の復習 (概ね1時間)
教科書	オンライン英字新聞ですので、インターネットを使用します。モバイルPC等を持参してください。 『英単語の語源図鑑』清水健司、すずきひろし かんき出版	
参考文献	授業時に適宜紹介します。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●								
科目名	Grammar I				単位 認定者	相田 明子 (Aクラス)		評価の 方法	授業内課題 (小テスト、ふりか えり等)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度 (発表等)	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	・英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 ・伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への 期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）ペアワーク等で演習問題に取り組むことで理解度を深めます。指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。 Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
2	Factbook: 文型 (3) Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
3	暗唱例文小テスト (文型) Factbook: 時を表す表現 (1) 現在形 過去形 解説と演習					(予習) 暗唱例文小テストに備える。(概ね30分)				
4	暗唱例文小テスト (時制) Factbook: 完了形 (1) 現在完了形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
5	Factbook: 完了形 (2) 過去完了形&過去進行形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
6	完了形に関連する問題演習 暗唱例文小テスト (完了形)					(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)				
7	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
8	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
9	Factbook: 助動詞 (2) (3) can / should / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
10	Factbook: 助動詞 (3) had better / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
11	暗唱例文小テスト (助動詞) Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習					(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)				
12	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 ①授与型 (SV00) ②「目的語説明型 (SV0C) 解説と演習					(予習) 暗唱例文小テストに備える (概ね30分)				
13	暗唱例文小テスト (受動態) Factbook: Option ③④⑤ 名詞 (1) (2) (3) 解説と演習					(予習) 指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間)				
14	Factbook: Option ⑥形容詞 ⑦副詞 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
15	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。					(予習) 試験範囲を復習し、疑問点を抽出しておく。(概ね2時間)				
教科書	『総合英語FACTBOOK: Advanced New Edition』 桐原書店編集部編 桐原書店									
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。遅刻は授業開始10分以内とする。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

						科目ナンバリング				
						CE-1-EBA-07				
学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●	●								
科目名	Grammar I				単位認定者	石田 陽子 (Bクラス)		評価の方法	授業内課題 (確認テスト)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題 (小テスト等)	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度 (発表等)	10 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必須です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
2	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の復習 文型 (3) 文型Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
3	暗唱例文小テスト (文型)、Factbook: 時を表す表現 (1) (2) 解説と演習					(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)				
4	暗唱例文小テスト (時を表す表現)、Factbook: 完了形 (1) 現在完了形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
5	Factbook: 完了形 (2) 過去完了形 完了進行形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
6	暗唱例文小テスト (完了形)、完了形の関連問題演習					(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)				
7	ふりかえり: Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
8	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
9	Factbook: 助動詞 (2) can / should / 解説と演習					(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)				
10	Factbook: 助動詞 (3) had better / 控えめ表現 / 助動詞+完了形 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
11	助動詞の関連問題演習 暗唱例文小テスト (助動詞)					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
12	Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習					(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)				
13	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SV00 SV0C 解説と演習					(予習) 試験範囲の内容を復習する (概ね120分)				
14	受動態の関連問題演習 暗唱例文小テスト (受動態)					(予習) 例文小テストのための準備 (概ね30分)				
15	ふりかえり: ここまで学修した範囲の復習を行う。					(予習) 教科書を復習し、疑問点を抽出しておく (概ね2時間)				
教科書	『総合英語FACTBOOK:Standard New Edition』 桐原書店編集部編 桐原書店									
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar II				単位 認定者	相田 明子 (Aクラス)		評価 の方法	授業内課題等（小 テスト、ふりかえり）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	「Grammar I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての確に理解し、多様なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めて行く。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカー（Therefore、However、In addition等）に重点を置いて学習する。各段落内部の構造（トピックセンテンス、例証、結論）も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	・ 英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 ・ 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）ペアワーク等で演習問題に取り組むことで理解度を深めます。指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認、Factbook：不定詞（1）名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法について 解説と演習					（復習）不定詞の3つの用法に関して、授業で学んだ事項をまとめる（概ね30分）				
2	Factbook：不定詞（2）（3）否定形、不定詞の重要表現 独立不定詞 解説と演習					（復習）不定詞に関する課題を解く（概ね30分）				
3	不定詞：暗唱例文小テスト、理解を深める（プリント）					（復習）不定詞に関する課題を解く（概ね30分）				
4	Factbook：動名詞（1）主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞（2）その他 解説と演習					（復習）動名詞に関して、授業で学んだ事項をまとめる（概ね30分）				
5	動名詞：暗唱例文小テスト、Factbook：分詞（1）名詞修飾 説明型 解説と演習分詞					（予習）分詞に関して、これまで学んできた事項をよく確認しておく（概ね30分）				
6	Factbook：分詞（2）動詞句の修飾 分詞構文 解説と演習					（復習）分詞構文に関して、整理してまとめる。課題を解く（概ね30分）				
7	分詞：暗唱例文小テスト、分詞構文の理解を深める（プリント）					（復習）分詞構文に関する課題を解く（概ね30分）				
8	ふりかえり：不定詞、動名詞、分詞に 関する小テストFactbook：比較（1）（2）原級 比較級 解説と演習					（復習）原級・比較級に関して、整理してまとめる。課題を解く（概ね30分）				
9	Factbook：比較（3）最上級 解説と演習 比較（1）（2）復習					（復習）最上級に関して、整理してまとめる。課題を解く（概ね30分）				
10	比較：理解を深める（プリント）					（復習）比較に関する課題を解く（概ね30分）				
11	比較：暗唱例文小テスト、理解を深める（プリント）Factbook：関係詞（1）who / which / whose 解説と演習					（復習）関係詞に関して、授業で学んだ事柄を整理してまとめる。課題を解く（概ね30分）				
12	Factbook：関係詞（2）（3）関係副詞 非制限用法 解説と演習					（復習）関係詞に関する課題を解く（概ね30分）				
13	関係詞：暗唱例文小テスト、理解を深める（プリント）					（復習）関係詞に関する課題を解く（概ね30分）				
14	Factbook：前置詞 at / in / on					（復習）前置詞に関する課題を解く（概ね30分）				

回	授業計画	準備学修
15	ふりかえり：比較、関係詞、前置詞についての小テスト	(予習)比較、関係詞、前置詞について、これまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分)
教科書	『総合英語FACTBOOK:Advanced』 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar II				単位 認定者	相田 明子 (Bクラス)		評価の方法	授業内課題等 (小テスト、ふりかえり)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題(発表等)	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Grammar I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての的確に理解し、多様なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めて行く。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカ（Therefore、However、In addition等）に重点を置いて学習する。各段落内部の構造（トピックセンテンス、例証、結論）も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）ペアワーク等で演習問題に取り組むことで理解度を深めます。指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。Factbook：不定詞(1)(2)名詞的用法 形容詞的用法、副詞的用法 否定 知覚動詞・使役動詞、 解説と演習									
2	Factbook：不定詞（3）SV0+to V 重要表現 完了形の不定詞 解説と演習、不定詞Plus					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
3	暗唱例文小テスト（不定詞）不定詞に関連する演習問題					(予習) 例文小テストのための準備（概ね30分）				
4	Factbook：動名詞(1)(2) 主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞、動名詞の重要表現 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
5	動名詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト（動名詞）					(予習) 例文小テストのための準備（概ね30分）				
6	Factbook：分詞（1）名詞修飾・SVC/SVOC 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
7	Factbook：分詞（2）動詞句の修飾 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
8	中間まとめ：Factbookの学修範囲の理解度を小テストにて確認する。					(予習) 指定範囲について、十分に学修する。（概ね2時間）				
9	Factbook：比較（1）原級 比較級 解説と演習					(予習) 例文小テストのための準備（概ね30分）				
10	Factbook：比較（2）最上級 解説と演習、比較Plus ささまざまな表現					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
11	比較に関連した問題演習 暗唱例文小テスト（比較）					(予習) 例文小テストのための準備（概ね30分）				
12	Factbook:関係詞（1）who / which / whose 主格・目的格について、（2）that / 省略解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				
13	Factbook:関係詞（3）関係副詞 非制限用法 解説と演習					(予習) 例文小テストのための準備（概ね30分）				
14	関係詞に関連する演習問題 暗唱例文小テスト（関係詞）					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分)				

回	授業計画	準備学修
15	ふりかえり：ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習)教科書を復習し、疑問点を抽出しておく（概ね2時間）
教科書	『総合英語FACTBOOK:Standard』 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	『総合英語FACTBOOK これからの英文法』 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-17					
		●	●								
科目名	Speaking Skills I				単位 認定者	ヒーブ ジョナサン		評価 の方法	授業内課題（最終スピーチ）	35	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題（その他）	40	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	25	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、不特定多数の前でスピーチができるようになることである。まずPublic Speakingの種類とその特性を理解し、効果的なプレゼンテーションを行ううえで、必要不可欠な手法及び表現パターンを学修していく。スピーチやプレゼンテーションのモデルケースを参考に、ビジネスプレゼンテーションを含め学生自らが選んだ題材について、発表するスキルを養うことを企図する。										
到達目標	The students are expected to focus on using the tools they will gain during this course and use them to improve the way they produce and prepare speeches for public speaking.										
学修者への期待等	The students will be expected to discuss and learn English connctected with a range of different topics, prepare and make speeches on these topics while taking feedback on board.										
回	授業計画					準備学修					
1	Speech 1: Self Introductions; The IPA, Topic 1: Reading, discussion, vocabulary work and group work.					Topic 1: Speech preparation (60 minutes)					
2	Speaking Task 1: Information gathering, Vowel articulation, Speech feedback and group work.					Topic 1: Edit speech (30 minutes)					
3	Speech 1: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.					Topic 2: Topic research (30 minutes)					
4	Speech 2: A person I admire; Consonant articulation, Topic 2: Reading, discussion, vocabulary work and group work.					Topic 2: Speech preparation (60 minutes)					
5	Speaking Task 2: Skills and achievements, linking sounds, Speech feedback and group work.					Topic 2: Edit speech (30 minutes)					
6	Speech 2: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.					Topic 3: Preparation (30 minutes)					
7	Speech 3: A place of importance; silent or unspoken sounds, Topic 3: Reading, discussion and group work.					Topic 3: Speech preparation (60 minutes)					
8	Speaking Task 3: Comparing destinations, Intonation, Speech feedback and group work.					Topic 3: Edit speech (30 minutes)					
9	Speech 3: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.					Topic 4: Preparation (30 minutes)					
10	Speech 4: Thinking of the future; Projection, Topic 4: Reading, discussion, vocabulary work and group work.					Topic 4: Speech preparation (60 minutes)					
11	Speaking Task 4: Making plans, Using a thesaurus, Speech feedback and group work.					Topic 4: Edit speech (30 minutes)					
12	Speech 4: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.					Topic 5: Preparation (30 minutes)					
13	Speech 5: A career worth doing; Closing a speech Topic 5: Reading, discussion, vocabulary work and group work.					Topic 5: Speech preparation (60 minutes)					
14	Speaking Task 5: What makes a good employee, Tempo, Speech feedback and group work.					Topic 5: Edit speech (30 minutes)					
15	Speech 5: Presentation, Q and A session, IPA practice and group work.					None					
教科書	None										
参考文献	None										
備考	Feedback will be on going.										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-18					
		●	●								
科目名	Speaking Skills II				単位 認定者	マーチー サム		評価 の方法	授業内課題（小 テスト）	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		プレゼンテーション	40	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目はディベートやディスカッションに活用するスキルを学ぶものである。そのスキルとは、帰納的あるいは演繹的な議論上での差異を明らかにし、主張と論証の方法、先入観や事実や意見を明瞭化する手段である。講義では、多岐にわたるトピックの教材を使用する。学生のディベートやクリティカルシンキングの技術を高め、効果的なグループディスカッションやディベートを行うことができるようになる。										
到達目標	①学修者は場面と状況においてスピーキングが持つ価値と限界を理解できる。 ②英語4技能の中におけるスピーキングの位置づけが理解できる。また、4 技能を活かしたスピーキングができる。 ③1対1のスピーキングスキル、パブリック・スピーキングスキル、会話継続力、会話切り出し力等、様々な「スピーキングの場」を想定し、自分を上手く表現し、他者とのコミュニケーションが捗り、言葉による他者との絆の強化方法についての知識と実践ノウハウが身に付く。										
学修者への 期待等	授業の話し合いに参加できるように、指示に従ってリーディング課題を終わらせる。授業について不明な点や質問があれば、放置せずすぐに確認すること。										
回	授業計画					準備学修					
1	①Semester Overview ② “Self-Disclosure Culture” （英語圏の自己開示の文化）					Read through the syllabus Review class notes (1 hour)					
2	①Past-Present-Future: Effective Self-Introductions					Read handout prior to class. (1 hour)					
3	①Self-Introduction Presentation and Peer-Feedback					Complete First Draft of Self-Introduction (1 hour)					
4	Unit 1 Discussing Technology Vocabulary Test, Small Group Discussion					Read Through Unit 1 of Assigned Reading. Study Vocabulary Words and Complete Assigned Questions (1 hour)					
5	Unit 2 Discussing Travel Vocabulary Test, Small Group Discussion					Read Through Unit 2 of Assigned Reading. Study Vocabulary Words and Complete Assigned Questions (1 hour)					
6	Speech Preparation					Read Through Class Handout (1 hour)					
7	Speech Practice and Peer Review					Complete First Draft of Speech (1 hour)					
8	Speech Presentation					Practice Speech and Prepare for In-Class Presentation (1 hour)					
9	Unit 4 Discussing Volunteering Vocabulary Test, Small Group Discussion					Read Through Unit 4 of Assigned Reading. Study Vocabulary Words and Complete Assigned Questions (1 hour)					
10	Unit 6 Discussing Ads and Commercials Vocabulary Test, Small Group Discussion					Read Through Unit 6 of Assigned Reading. Study Vocabulary Words and Complete Assigned Questions (1 hour)					
11	Unit 7 Discussing The News Vocabulary Test, Small Group Discussion					Read Through Unit 7 of Assigned Reading. Study Vocabulary Words and Complete Assigned Questions (1 hour)					
12	Explaining The Situation:					Read Through Class Handout (1 hour)					
13	Telling A Story: The AAA Method					Read Through Class Handout (1 hour)					
14	Telling A Story: The AAA Method, Peer Review and In-Class Practice					Prepare First Draft of Final Speech (1 hour)					
15	Telling A Story: The AAA Method, Final Presentation					Practice for Final Speech Presentation (1 hour)					
教科書	The English Course Discussion Book 2, Gary Ireland & Max Woolerton, The English Company, ISBN 978 4990 296 261										
参考文献	『日本人はなぜ英語ができないか』、鈴木考夫、岩波新書										
備考	講義内の発表は、授業外課題のフィードバックは、口頭やメールで行う。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-06					
	●	●									
科目名	Extensive Reading				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	学生個人の英語レベルに応じて、各自が辞書を引かずに読める程度の易しい英語で書かれた本から読み始め、できるだけ多く読むことで、英文に慣れ、読む速度を上げ、多様な表現に触れ、語彙を広げることを目的とする。読み終えた本の語数を記録し、継続して多読の記録をつける。これに加え、多くの英語の本を読めた達成感を味わうことで、自分の英語力に関しての自信を高め、英語でのコミュニケーションを積極的に図れるようになることにつなげる。										
到達目標	多くの英語の本を読むことを通し英文読解に慣れ、止まることなく正確に読めるようになる。読解の過程を通し、主に読み物に現れる様々な表現や文体に慣れ、語彙を広げられるようになる。多読を行った結果として自分の英語読解力、語彙力への自信を高め、積極的に英語でコミュニケーションが図れるようになる。										
学修者への期待等	本科目は授業内はもちろんですが、授業外での個々の多読に取り組む姿勢が特に重要です。英文を読む際に抵抗がなくなるようにするために、日ごろから様々なジャンルの英語の文章を読み、意味を考える習慣をつけてください。また、新たに覚えた単語や表現等はできるだけ多読記録用ノートに記録を取るようにしてください。学科で使用するXreadingによる多読は可能な限り取り組んでください。辞書は必携です。毎回の授業で読んだ内容に関してはReading Reportを提出してもらいます（形成的評価）。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンスと「Extensive Reading」への導入					自分のレベルにあった多読用の本があれば選んでおくこと。見つからなければ当日図書館に選びに行っても良い。（概ね1時間）多読記録用ノートを準備する。					
2	Extensive Reading（多読の試みと解説）					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
3	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 1）、多読教材：1冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
4	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 2）、多読教材：2冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
5	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 3）、多読教材：3冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認、全体での語彙の共有・確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで読み終えた本の冊数を記録し、内容と新しく覚えた表現の確認をする。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）					
6	Extensive Reading（英字新聞などの紹介、多読の実践と記録） Xreading実践（part 4）、多読教材：4冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
7	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 5）、多読教材：5冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
8	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 6）、多読教材：6冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
9	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 7）、多読教材：7冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
10	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 8）、多読教材：8冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認、全体での語彙の共有・確認	選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
11	Extensive Reading（ネット上で利用できる英字新聞サイトの紹介、多読の実践と記録） Xreading実践（part 9）、多読教材：9冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材等を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
12	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 10）、多読教材：10冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
13	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 11）、多読教材：11冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
14	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 12）、多読教材：12冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトを読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
15	Extensive Readingの総括（これまでの読書記録と多読を通して獲得した知識の確認）	提出レポートの準備。これまでの読書記録を振り返り、読んだ本や記事の内容、及び自分の英語力の伸び（使えるようになった表現など）を確認する。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
教科書	Xreadingを使用した多読、学生各自で自分の英語レベルにあった読み物を準備する。図書館の多読教材（Oxford Bookworm Library Level 1、2程度等）を利用しても可。また授業内で必要に応じてプリントを配布する。	
参考文献	授業内で適宜紹介する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-09				
	●	●								
科目名	Chorus English				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目の目的は、例えばThe Beatlesから今日のアーティストまで、大衆に受け入れられ、普段よく耳にする英語の歌を通して英語の節回し、リズム、表現、韻律などについての理解を深めることである。歌詞を読解し、英語の歌の文構造の特徴を捉え、その歌の世界観や言葉遊びなどに親しむ。様々な歌を歌いながら英語への抵抗感をやわらげ、英語の学修動機を高めていく。 最終的に自ら選んだ題材で個人、またはグループでパフォーマンスを行い、成果発表とする。									
到達目標	Pop Hits を聴きながら英語特有の音声変化やリズムに慣れ親しみ、英語の気力をバランスよく向上させることを目的としています。また、普段意味をあまり考えずに聴いていることが多い英語の歌の内容を正確に知ることによって、英語の歌のみならず、英語そのもののへの興味や関心を高めていきたい。									
学修者への期待等	歌唱力は重要ではありませんが、歌唱に参加する意欲は必要です。									
回						準備学修				
1	Unit 1. You're Beautiful (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 1. You're Beautiful (p.6 ～ p.13 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
2	Unit 2. I Want It That Way (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 2. I Want It That Way (p.14 ～ p.21 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
3	Unit 3. The First Time (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 3. The First Time (p.22 ～ p.29 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
4	Unit 4. Complicated (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 4. Complicated (p.30 ～ p.37 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
5	Unit 5. My Heart Will Go On (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 5. My Heart Will Go On (p.38 ～ p.45 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
6	Unit 6. With You (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 6. With You (p.46 ～ p.53 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
7	Unit 7. Torn (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 7. Torn (p.54 ～ p.61 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
8	Unit 8. You Are Not Alone (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 8. You Are Not Alone (p.62 ～ p.69 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
9	Unit 9. You Gotta Be (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 9. You Gotta Be (p.70 ～ p.77 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
10	Unit 10. Hhow Crazy Are You? (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 10. How Crazy Are You? (p.78 ～ p.85 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
11	Unit 11. Last Christmas (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 11. Last Chrstmas (p.86 ～ p.93 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
12	Unit 12. Desperado (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 12. Desperado (p.94 ～ p.101 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
13	Unit 13. All I Want For Christmas Is You (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 13. All I Want For Christmas Is You (p.102 ～ p.109 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
14	Unit 14. Sunday Morning (Warm up, Let's Listen! Grammar, Let's Read! Challenge Yourself!) Discussion & Quiz					Unit 14. Sunday Morning (p.110 ～ p.117 にある問題を全て予習しておくこと) 概ね40分				
15	The class will be divided into small groups and will present a song.									
教科書	Let's Learn English with Pop Hits! Teruhiko Kadoyama Timothy F. Hawthorne SEIBIDO ISBN978-4-7919-7203-6									
参考文献	特になし									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-21				
	●	●								
科目名	Vocabulary Building				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	This elective course focuses on helping students improve and understand vocabulary words by examination of Greek and Latin bases of words, recognition of word parts such as prefixes and suffixes, and studying the etymological meanings of words. The larger our vocabularies the more clearly we can communicate with others and understand what others are trying to communicate to us. Students taking this course will learn new vocabulary words by practicing reading in context, by writing sentences using the words and by doing practice exercise and quizzes.									
到達目標	The aim of this course is to train students to be able to write the meanings of a sum of newly introduced words. Spelling these new words, using these new words in meaningful sentences will also be focused upon.									
学修者への 期待等	Students are expected to complete all the exercises before coming to class.									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1. People and Places					Do exercises 1-1～1-10 (preparation time approximately one hour)				
2	Unit 2. Singular, Plural, and Noncount Nouns					Do exercises 2-1～2-24 (preparation time approximately one hour)				
3	Unit 3. Proper Nouns (Pairwork)					Do exercises 3-1～3-2 (preparation time approximately 20 minutes)				
4	Unit 4. Possessive Nouns and Pronouns					Do exercises 4-1～4-4 (preparation time approximately 30 minutes)				
5	Unit 5 Review of Singular, Plural, and Noncount Nouns (Pairwork plus Quiz)					Do exercises 5-1～5-2 (preparation time approximately 20 minutes)				
6	Unit 6. Verbs Used as Nouns (Pairwork)					Do exercises 6-1～6-2 (preparation time approximately 20 minutes)				
7	Unit 7. More Specific Nouns					Do exercises 7-1～7-18 (preparation time approximately one hour)				
8	Unit 8. Making Descriptions					Do exercises 8-1～8-24 (preparation time approximately one hour)				
9	Unit 9. Comparisons and Superlatives					Do exercises 9-1～9-16 (preparation time approximately one hour)				
10	Unit 10. Verbs and Nouns Used as Adjectives (Pairwork plus Quiz)					Do exercises 10-1～10-10 (preparation time approximately one hour)				
11	Unit 11. Adjective Order (Pairwork)					Do exercises 11-1～11-2 (preparation time approximately 20 minutes)				
12	Unit 12. The Verb <i>Be</i> (Pairwork)					Do exercises 12-1～12-6 (preparation time approximately 30 minutes)				
13	Unit 13. Non- <i>To Be</i> Verbs					Do exercises 13-1～13-60 (preparation time approximately two hours)				
14	Unit 14. Adverbs of Time, Place, and Frequency					Do exercises 14-1～14-10 (preparation time approximately one hour)				
15	Unit 15. Adverbs of Manner (Pairwork plus Quiz)					Do exercises 15-1～15-10 (preparation time approximately one hour)				
教科書	Handouts will be distributed.									
参考文献										
備考	Regarding feedback to students, exercises will be corrected and returned.									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-12				
	●	●	●	●	●					
科目名	海外研修				単位 認定者	相田 明子 小松 義隆		評価の 方法	授業内課題 (レポート)	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題 (発表等)	60 %
						授業時間数	90 時間		受講態度	20 %
				授業形態	実習	授業回数	集中			
授業の概要	英語圏での研修を通して、世界における英語の重要性を実感し、今後の英語学修のモチベーションとする。英語力の強化はもとより、異文化に直接触れ、異文化社会の中で生活することを通して、コミュニケーション能力を高め、また、課題を発見し、解決する力を身につけることを目的とする。 具体的には、現地の大学での語学研修に加え、現地の住民や他国の留学生などとの交流活動を行う。									
到達目標	- 英語圏での学修やホームステイの経験を通して、英語の重要性や実用性を体感し、学修へのモチベーションを高めることができる。 - 課題に向き合い、周囲と協力しながら英語を使って問題を解決することが出来るようになる。 - グローバルな視点を持って物事を考察することが出来るようになる。									
学修者への期待等	①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。 ④短い研修期間を有意義に過ごすため、日本での準備をしっかりと行うこと。 ⑤現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待する。									
授業計画										
1. 研修先・研修期間 4月ガイダンス時に説明する。 2. 授業計画 現地校での英語学修と観光事情についての学修を学びの中心とする。 (1) 事前学修 (学内) 第1回 海外研修の目的 第2回 海外研修のための具体的な準備 第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表 (2) 海外研修 (16日間 現地にて) 現地校での英語クラスに出席し、学修する。 ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の向上に努める。 現地での見学先や交流先での体験は、提示された課題にまとめる。 (3) 事後学修 (学内) 第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告書作成について 第5回 海外研修報告会 3. 目標 ①英語圏での生活と学修により、自身の英語コミュニケーション力を体験的に理解し、今後の学修に活かす。 ②英語圏の人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。 【注意事項】 ① 学内実施の「事前学修」、「事後学修」の日程は、UNIPA等で連絡する。 ② 現地での研修期間中に個人的な事由により現地授業や視察に出席できなかった場合、原則として単位認定を行わない。 ③ 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合、事前学修が行われていても、単位認定を行わない。										
教科書	資料は授業で配布する。									
参考文献	事前研修等で指示する。									
備考	新型コロナウイルスの感染状況等により、開講しないことがあります。課題は事前・事後研修内でフィードバックを行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-01					
			●		●						
科目名	ビジネスプロトコール				単位 認定者	加藤 雅子		評価 の 方法	試験(筆記)	80	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業態度	20	%
						授業時間数	30 時間				
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	ビジネスシーンをはじめとする国際的な交流の場面では、歴史、文化、言語などの違いから、誤解が生ずることもある。無用の誤解を避け、相互理解を促し、円滑な国際交流を行うための共通認識であるプロトコールについて、基礎的な知識や技能を身につける。 また、プロトコールは絶対的な規則ではなく、時代、地域や国、会合の趣旨等によって柔軟に運用されるものであることも理解する。										
到達目標	「マナー」・「国際プロトコール」の意味・重要性を理解し、説明出来る状態になる。 日本のビジネスにおける慣習と冠婚葬祭のしきたりについて理解し、有効活用出来るようになる。										
学修者への 期待等	全ての項目が普段の生活・社会生活で活かせるものです。積極的に受講し吸収すること。 また、本講義の性質上、不適切な受講態度には厳しく対処するので、己を律して受講すること。										
回	授業計画					準備学修					
1	マナーとは何か（マナー、エチケット、プロトコールのついてグループディスカッション）					テキスト序章「マナーとは何か」を読んでおく。テキスト1ページのワークをしておく。（概ね45分）					
2	マナーの歴史と意味					テキスト第1章「マナーの歴史と意味」を読んでおく。（概ね50分）					
3	国際人としてのプロトコール①（プロトコールの原則、具体的な席次例、社交の場でのコミュニケーション）					テキスト第2章1節「プロトコールの原則」～3節「社交の場でのコミュニケーション」を読んでおく。（概ね50分）					
4	国際人としてのプロトコール②（挨拶と紹介、外国人への贈り物、国旗の扱い）・自己紹介（グループワーク）					テキスト第2章4～6節「挨拶と紹介」～「国旗の扱い」を読んでおく。1分半程度の自己紹介の練習をしておく。（概ね50分）					
5	国際人としてのプロトコール③（礼拝の場でのマナー、異文化コミュニケーション）・異文化体験について（グループワーク）					テキスト第2章7節「礼拝の場でのマナー」、8節「異文化コミュニケーション」を読んでおく。自分の異文化コミュニケーションの体験を書き出しておく。（概ね45分）					
6	社会人に必要なマナー①（第一印象の重要性）立居振舞い実践トレーニング、印象交換グループワーク					テキスト第3章1節 1) 「第一印象の重要性」、2) 「印象を形成する主な要素」を読み、挨拶・表情の練習をしておく。（概ね50分）※身嗜みを整えて授業に参加すること					
7	社会人に必要なマナー②（丁寧な言葉遣い、聴き方、話し方の基本）※聴き方：ペアワーク、話し方：グループワーク					テキスト第3章1節 2) ⑥「丁寧な言葉遣い」～4) 「話し方の基本」を読んで理解しておく。（概ね50分）					
8	社会人に必要なマナー③（礼装の基準、贈答、手紙）					テキスト第3章2～4節「礼装の基準」～「手紙のマナー」を読んでおく。（概ね50分）					
9	ビジネスシーンのマナー①（ビジネスマナーの必要性、社会人としての心構え）					テキスト第4章1節「ビジネスマナーの必要性」、2節「社会人としての心構え」を読んでおく。（概ね50分）					
10	ビジネスシーンのマナー②（名刺の扱い方、電話応対実践練習）※ペアワーク、グループワーク					テキスト第4章3節「名刺交換」、4節「電話応対」を読み、実践に移せるように練習しておく。（概ね50分）					
11	ビジネスシーンのマナー③（来客応対、ビジネス文書）※来客応対1連の流れ実践練習：グループワーク					テキスト第4章6節「来客応対」、7節「ビジネス文書」を読んでおく（概ね50分）。来客応対については、実践に移せるように練習しておく。復習でビジネス文書を作成する。（概ね50分）					
12	食事のマナー（箸使い、食器の取り扱い実践練習）					テキスト第5章「食事のマナー」を読んでおく。（概ね50分）※実践練習用の箸（割り箸も可）を一膳持参すること。					
13	お酒のマナー					テキスト第6章「お酒のマナー」を読んでおく。（概ね50分）					
14	「冠」「婚」「葬」のしきたりとマナー					テキスト第7～9章の「冠」「婚」「葬」のしきたりを読んで予習しておく。（概ね60分）					
15	「祭」のしきたり ※グループワーク及び発表全体の復習及び重点項目の確認					テキスト第10章の「祭」のしきたりを読んでおく。自分の住んでいる地域の祭りやイベントをリストアップする。これまでの講義全体を振り返り、内容を明確にしておく。（概ね60分）					
教科書	『マナー&プロトコールの基礎知識（第6版第1刷）』NP0法人日本マナー・プロトコール協会										
参考文献	『最新版「さすが！」といわせる大人のマナー講座』 日本マナー・プロトコール協会著 PHP研究所										
備考	本科目の内容は「マナー・プロトコール検定2級・3級」に繋がる。 グループワークや実践練習等については、都度学生に口頭にてフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											
実務経験の概要:元大手航空会社国際線CA、CA教官。2016年G7 語学ボランティアマナー研修担当。東京2020オリンピック競技大会向け「チーム宮城おもてなし」パネラーとして登壇。 実務経験と授業科目との関連性:実務経験を活かした講義内容を実施。実践・ケーススタディー等を通して、国際プロトコール及びビジネスマナーを身につけることを目指す。											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-06					
			●	●							
科目名	秘書実務				単位 認定者	細川 久美子		評価の 方法	試験(筆記)	80	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	10	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	秘書に求められる知識・技能について理解し業務遂行能力を養い、気配り、機転などの秘書的センスを実践的に学ぶことにより実務能力が身につく。 本科目は、秘書の業務に限らず幅広い職種での対応力に生かすことが期待できる。										
到達目標	秘書の役割や業務を学ぶことにより、次の事柄について修得することを目標とする。 ①組織人として求められる資質と基本的な仕事の処理の仕方を理解する。 ②人間関係をわきまえた立ち居振る舞いを理解し、相手の立場に立った言動や感じの良い印象を与える所作を実践できるようにする。										
学修者への期待等	受講に際し、講義の妨げになる遅刻、忘れ物、言動などには十分注意して臨んでください。 秘書技能検定取得につなげる授業内容を含んでいるので、前向きに受験することを期待しています。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方・評価について 秘書の定義と必要とされる人柄と資質					【事前】「秘書に求められる資質」について、テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
2	秘書の職務について					【事前】「職務知識」について、テキスト該当部分を熟読しておく。また、秘書の人柄が補佐役としてどのように影響すると思うか自身の考えをまとめて授業に臨む。(30分程度)。 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
3	秘書として必要な一般知識について (企業と経営組織、人事・労務管理)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
4	秘書として必要な一般知識について (マーケティング、会計・財務)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
5	秘書として必要な一般知識について (金融と経営法務)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
6	マナーと接遇について (人間関係と言葉遣い)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
7	マナーと接遇について (受付・取次、来客対応)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】受付・取次、来客対応についての課題に取り組む。(30分程度)					
8	マナーと接遇について (電話応対)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】電話応対についての課題に取り組む。(30分程度)					
9	マナーと接遇について (慶弔業務、贈答)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】慶弔業務、贈答についての課題に取り組む。(30分程度)					
10	身につけておくべき技能について (会議、ビジネス文書)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
11	身につけておくべき技能について (社内文書と社外文書)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
12	身につけておくべき技能について (郵便・秘文書の取り扱い)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					
13	身につけておくべき技能について (ファイリング、名刺や資料の整理)					【事前】テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)					

回	授業計画	準備学修
14	身につけておくべき技能について (オフィス環境の整備)	【事前】 テキスト該当部分を熟読しておく。(30分程度) 【事後】 テキスト該当部分の『練習問題』に取り組むこと。(30分程度)
15	学修のまとめ 実務へ向けて	【事後】 演習課題に取り組む。(60分程度)
教科書	『秘書検定合格教本2・3級』 新星出版社 (ISBN 978-4-405-03239-2)	
参考文献	『秘書検定実問題集 3級』 実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『秘書検定実問題集 2級』 実務技能検定協会編 早稲田教育出版 『秘書検定実問題集 準1級』 実務技能検定協会編 早稲田教育出版	
備考	1. 受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 2. 本科目は秘書検定につながる。 3. 課題については、講義内でフィードバックを行う。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

2011年より、株式会社総務部門での経理等の実務を担当。現在、人事・教育サービス会社の取締役。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-05				
			●		●					
科目名	エアラインサービス				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験(レポート)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題等	40 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
						授業回数	集中			
授業の概要	本科目では、接客やサービス業界で求められるおもてなしの基本を学び、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、社会人としてふさわしい行動を理解し、実践できるようになることを目標とする。 グランドスタッフ、キャビンアテンダントの業務など、エアライン業界で必要な知識やスキルを身につける。企業が求めるサービスマインドやコミュニケーション力を涵養する。									
到達目標	◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる（言葉遣い/立ち居振る舞いなど） ◇社会人としての基本的な規律を順守できる ◇「おもてなし」の大切さを考え、日常生活でも接客を発揮することができる ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる ◇グランドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる									
学修者への期待等	◇積極的な授業への参加 ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	マインドセット				【事前】HPでANAグループ企業情報を確認し、ANAについて各自イメージしておくこと（概ね1時間）			スミス アンソニー 講師未定		
2	印象力アップⅠ							スミス アンソニー 講師未定		
3	印象力アップⅡ							スミス アンソニー 講師未定		
4	ANAを知る～過去・現在・未来～							スミス アンソニー 講師未定		
5	ANA's Way				【事前】ANA's Wayについて調べておくこと（概ね1時間）			スミス アンソニー 講師未定		
6	言語化トレーニング							スミス アンソニー 講師未定		
7	キャリアⅠ～自己分析～				【事前】ライフラインチャートを事前に記入しておくこと（概ね1時間）			スミス アンソニー 講師未定		
8	キャリアⅡ～企業とのマッチング～				【事前】志望する企業情報を調べておくこと（概ね30分）			スミス アンソニー 講師未定		
9	チームビルディングⅠ							スミス アンソニー 講師未定		
10	チームビルディングⅡ							スミス アンソニー 講師未定		
11	表現力アップ							スミス アンソニー 講師未定		
12	ANAグランドスタッフの仕事を知る				【事前】グランドスタッフの具体的な業務内容を調べておく（概ね1時間）			スミス アンソニー 講師未定		
13	グランドスタッフの対応力～基礎編～							スミス アンソニー 講師未定		
14	グランドスタッフに求められるコミュニケーション力							スミス アンソニー 講師未定		
15	グランドスタッフの対応力～実践編～							スミス アンソニー 講師未定		
教科書	ANAエアラインスクールテキスト式									
参考文献	『ANAの口ぐせ』『ANAの気づかい』『ANAの教え方』以上3冊 ANAビジネスソリューション・株式会社KADOKAWA									
備考	1日目の講義の前にオリエンテーションがあります。希望者のみ、福島空港において日帰りの実務研修を実施します。 授業内で取り組んだ課題などのフィードバックに関しては、講義の中で解説を行います。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

この授業ではCAの経歴をもつ実務経験者を招聘し授業を実施します。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-05					
			●	●							
科目名	キャリア形成演習Ⅰ				単位 認定者	川出 裕佳		評価の 方法	レポート	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>授業内課題等</td> <td>30</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	「社会の動きの意識的な観察を行いどのような分野に関わり、どのように自身を活かしていくかをシミュレーションする」「働く意味について考え、学生各自が自らの将来をイメージできるようにする」ことから、職業意識を涵養していく。また、グループワークを通して、自己と他者の価値観の違いに気づき、他者を尊重しつつ、自分の意見や主張を論理的に話す力を養う。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画を立てられるようにする。										
到達目標	①自分自身を具体的に知ること、変化の激しい社会の中で自分らしいキャリアを構築するための考え方を身につける。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージすることで職業意識を高める。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。										
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識し、キャリアオーナーシップを育むことを目指します。個人・グループワーク等では「自分の言葉で話し、相手の話を聴く」積極的な対話を期待します。										
回	授業計画					準備学修					
1	ガイダンス、大学生活とキャリア					グループワークを通したブレインストーミングを行う。					
2	社会や企業の現状と課題、国際比較からみた日本の労働現状					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
3	自分自身を知るⅠ 発達理論からのアプローチ（1）～価値観～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
4	自分自身を知るⅠ 発達理論からのアプローチ（2）～ライフラインチャート～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
5	自分自身を知るⅡ 社会的アプローチ～ライフイベント（就職、育児、介護、転職等）含む設計～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
6	インターンシップガイダンス					インターンシップについて知り、準備を行うため自身の持つ好奇心を働かせて臨むこと。					
7	「働くこと」～①社会が求める人材像②職業興味検査で社会の仕事を知り、自分の興味関心を知る					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
8	SDGsとキャリア～ジェンダー、貧困・格差、環境、パートナーシップ等（1）～SDGsを理解し、日本と海外の今を知る～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
9	SDGsとキャリア～ジェンダー、貧困・格差、環境、パートナーシップ等～（2）キャリアにおいてSDGs項目から現状とこれからを考える～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
10	現代のキャリアに役立つ「キャリア理論」					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間程度）					
11	事例で考えるライフデザイン					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
12	労働者とセーフティネット					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
13	キャリア形成と求められる基礎能力（1）～社会人基礎力～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
14	キャリア形成と求められる基礎能力（2）～自分の強みと弱み～					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。（概ね1時間）					
15	キャリアプランの発表					各自作成したキャリアプランの発表					
教科書	特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。講義で随時配る資料はファイルしておくこと。										
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。										
備考	受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。レポートのテーマはUNIPAに掲載し採点后、返却。授業内課題については都度クラス内で共有しお互いにフィードバック等を行い、学びを深める。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											
現在キャリア関係会社にて勤務。大企業、中小企業等の民間、行政で勤務等10年以上の実務経験を持つ。											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
			●	●		CE-4-ESE-06					
科目名	キャリア形成演習Ⅱ				単位 認定者	加藤 雅子		評 価 の 方 法	試験（レポート）	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題	30	%
						授業時間数	30 時間		授業態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	業界研究、企業研究を実践、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション、各分野の専門家による講義も導入していく。これにより現代社会の動向を捉え、全体性の中での仕事・学生自分の役割や価値への気づきを創っていく。既存の職業にこだわらず、キャリア形成に係る研究や他者とのディスカッションを通して、活躍の分野を切り拓くことにも観点が向き、学生それぞれに独自性や企画力が反映されたキャリアプランが作成される。										
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。										
学修者への 期待等	充実した学生生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワーク等では積極的に取り組み、よく考え、発言することを期待する（本講義は参加型授業）。自分を振り返る時間を持ち、将来のキャリア形成に繋げて欲しい。										
回	授業計画					準備学修					
1	働くとは、就職するとは ～就職活動の心構え～ ※グループワークで自分の考えを出し合う					前期既習内容を復習しておくこと。自分が働くイメージをより具体的にしておくこと。（概ね30分）					
2	就活マナー（第一印象の重要性、敬語と言葉遣い、電話応対）、立ち居振る舞い実践練習					配布資料を読み、ポイントを押さえて練習しておくこと。（概ね60分）					
3	社会で必要となるコミュニケーションスキル（伝え方・聴き方フレームワーク実践：ペアワーク）					自己紹介を1分半で話せるように準備しておくこと。（概ね60分）					
4	新聞ワーク（グループディスカッション及び発表）					気になる新聞記事を読み、自分の考え・意見をまとめておくこと。（概ね60分）※授業中に別途案内する。					
5	自己理解① ～外的キャリア・内的キャリアを整理する～（自分史づくり：個人/グループワーク）					自分のこれまでの（小学生～現在）歴史を印象深いイベントや出来事と絡め自己の振り返りをしておくこと。（概ね60分）					
6	自己理解② ～環境と価値観を理解する～（個人/グループワーク）					自分の置かれている環境から得た価値観、興味・関心を考えておくこと。（概ね60分）					
7	人生100年時代を豊かに生きる（キャリアプラン、社会人基礎力、私のワークライフ：個人/グループワーク）					今後の生き方、自分のキャリアを具体的に考えておくこと。（概ね60分）					
8	職業理解（業界・職種・企業研究：個人/グループワーク）～現代社会の動向、社会情勢、経済から将来の職業を考える					自分の目指す業界・職種・企業について調べておくこと。※別途授業中に説明する。（概ね60分）					
9	就職活動の進め方（スケジュールの確認、合同企業説明会、インターンシップ）					自分の就活の進め方（スケジュール）を具体的に考えておくこと。（概ね60分）					
10	魅力ある応募書類の書き方（エントリーシート、履歴書）					自己分析を行い、強み、弱みを書き出してくること。裏付ける個性溢れる理由、エピソードを準備する。（概ね60分）					
11	就職体験報告会（先輩から就職活動体験談及び質疑応答） ※学生総合支援センター担当					先輩に聞きたいことを準備しておくこと。（概ね30分）					
12	面接マナー（面接の身嗜み、受け答え、名刺交換）実践練習					自分に合った面接の身嗜み（服装、メイク、髪型等）を研究しておく。第一印象について復習をしておく。（概ね60分）					
13	面接講座（面接の種類と実施の目的、面接のポイント）、模擬面接実践（集団/個人）					面接で質問される内容を想定し、面接マナーも含め、受け答えの練習をしておくこと。（概ね60分）					
14	グループディスカッション（GDの目的と意義、GDのポイント、GD実践）※グループワーク					新聞・ニュース等からの情報に関し、自分の意見・考えを相手に伝える練習をしておくこと。（概ね60分）					
15	講座のまとめと総括：社会人とキャリア形成					これまでの総復習をしておくこと。（概ね60分）					
教科書	レジュメや参考資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。 講義で随時配る資料は必ずファイルをしておくこと。										
参考文献	『大学生のキャリアデザイントレーニング』晃洋書房、『未来を拓くキャリア・デザイン講座』中央経済社、他。										
備考	受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になる場合は事前に連絡する。 講義内での実践練習及び課題発表、模擬面接等では、口頭にてF/Bをし、レポート課題については、個々にコメントを記載して返却、及び講義内で口頭にて全体にF/B、情報共有を行う。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

- ・大手就職支援会社、教育会が実施する大学生・高校生・中高年層向けの就職セミナー、また新人研修を担当。
- ・元大手航空会社で国際線客室乗務員の教育・育成及び外国人CAの人員配置等を担当。
- ・企業の採用人事担当者向けセミナーを実施している。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-02				
	●	●	●							
科目名	基礎ゼミ				単位 認定者	備考参照		評価の方法	試験 (レポート)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内発表・課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするため、大学生活への導入、大学教育の意義や目的を理解し、文章の読み方・書き方（文章表現力）など、基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目標とする。 また、批判的思考力を養い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーションスキルの向上を目指す。									
到達目標	学修についての自己管理ができ、計画的な学修を実行できるようになる。 仲間を信頼し、協力して学修を遂行できるようになる。									
学修者への期待等	授業は合同実施の回とゼミ単位で実施の回があるため、掲示等をよく確認の上、授業に臨むこと。また、グループ活動では、他人任せにせず、皆で協力し、積極的に取り組むこと。									
回	授業計画					準備学修			担当	
1	大学生活と学修環境について① パソコン、シラバス、学生便覧を持参してください								スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
2	大学生活と学修環境について② 集中講義科目 (1)海外研修 (2)エアラインサービス (3)先輩の体験談					シラバスを読み、両科目について理解しておいてください。先輩への質問を準備しておいてください (30分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
3	大学生活と学修環境について③ ゼミ教員との面談					(復習) 担当教員との面談の内容をまとめてください (20分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
4	ゲストスピーカーによる講演会① タイトル未定					ゲストスピーカーへの質問を準備しておいてください。 (30分程度)			相田明子	
5	学外学修① 仙台空港研修					(予習) 研修先の企画内容を理解しておいてください。 (20分程度)			スミスアンソニー	
6	芸術鑑賞					劇団のホームページ等から『キャッツ』について概要を調べ、鑑賞の準備をしておいてください。 (30分程度)			スミスアンソニー	
7	ゲストスピーカーによる講演会② 英語とキャリア					ゲストスピーカーへの質問を準備しておいてください。 (30分程度)			相田明子	
8	ゲストスピーカーによる講演会③ 多読のすすめ					ゲストスピーカーへの質問を準備しておいてください。 (30分程度)			相田明子	
9	国際交流								相田明子	
10	プレゼンテーション①自己紹介、ブレインストーミング、相手に伝えるプレゼンテーションの工夫 (各ゼミ)					(復習)プレゼンテーションに必要な準備を進めてください。 (60分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
11	プレゼンテーション②内容の推敲と発表の準備、ゼミ教員からの助言 (各ゼミ)					(復習) ゼミメンバーへの評価ををまとめてください。 (30分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
12	プレゼンテーション③合同発表会 (全員の発表)					(復習) 全体プレゼンテーションの評価をまとめてください。 (30分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
13	学外学修②：見学地の訪問と現地学修 (仙台ロイヤルパークホテル研修)					(予習) 見学先について調べておいてください。 (30分程度)			小松義隆	
14	学外学修③：見学後の考察で (仙台ロイヤルパークホテル研修)					(復習) 学んだことをまとめてください。 (1時間程度)			小松義隆	
15	前期の総括。夏季休暇の過ごし方。後期の科目履修説明					(予習) 夏季休暇中の予定を考えておいてください。 (30分程度)			スミスアンソニー・ジョーンズドミニク・相田明子・小松義隆	
教科書	使用しない。									
参考文献	授業時に、適宜紹介する。									
備考	単位認定者：スミス アンソニー、ジョーンズ ドミニク、小松 義隆、相田 明子 第10回～12回はゼミ別にて実施する。授業内課題は返却時に指導、授業内での発表に対しては授業内でフィードバックを行う。ゲストスピーカー、学外学修先の都合により、実施順は入れ替わる場合がある。状況によって、遠隔授業になることがある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
	●	●				CE-4-ESE-08					
科目名	TOEIC I				単位 認定者	尾形 まゆみ		評価の方法	試験（筆記）	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は、リスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。英語力の評価として広く社会で利用されているTOEIC® Listening and Reading Test (TOEIC® L&R)の問題演習を通して、英語力の弱点や強みを理解し、効果的な学修方法を構築できるようになる。本科目を通して、TOEIC® L&Rのスコアアップへの意欲を高めていく。										
到達目標	学生は基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことをTOEIC®公開テストで活用することができる。										
学修者への期待等	授業の予習復習を必ず行うこと。電子辞書を用意すること。各自で公式TOEIC®の試験（1・3・4・5・6・7・9・10・11・12月の年10回）の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。										
回	授業計画					準備学修					
1	オリエンテーション（履修の心得、授業の進め方、評価の基準、TOEICテストについての説明などを行う。）					シラバスをよく読み、授業内容について理解しておく。（1時間）					
2	Unit1: Entertainment (Listening)					映画や音楽などの娯楽に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
3	Unit1: Entertainment (Reading)					文法・映画や音楽などの娯楽に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
4	Unit2 :Personnel (Listening)					求人広告や社内人事に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
5	Unit2 :Personnel (Reading)					文法・求人広告や社内人事に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
6	Unit3: Office Work & Supplies (Listening)					オフィス業務や備品に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
7	Unit3: Office Work & Supplies (Reading)					文法・オフィス業務や備品に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
8	Unit4: Office Messages (Listening)					電話やEメールなどのオフィスメッセージに関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
9	Unit4: Office Messages (Reading)					文法・電話やEメールなどのオフィスメッセージに関するリーディングセクションの予習（1時間）					
10	Unit5: Eating Out (Listening)					ランチやパーティーなどの外食に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
11	Unit5: Eating Out (Reading)					文法・ランチやパーティーなどの外食に関する単語・長文リーディングセクションの予習（1時間）					
12	Unit6: Technology (Listening)					コンピューターなどの科学技術に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
13	Unit6: Technology (Reading)					文法・コンピューターなどの科学技術に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
14	Unit7: Research & Merchandise Development (Listening)					調査研究や商品開発に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
15	Unit7: Research & Merchandise Development (Reading)					文法・調査研究や商品開発に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
教科書	『SUCCESSFUL STEPS FOR THE TOEIC L&R TEST -New Edition-』（テーマ別TOEIC L&R TEST 総合演習）成美堂										
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示します。										
備考	必ず毎回授業の学習箇所の問題に解答して授業に臨むこと。授業中に質問に答えられないと予習をしていないと見なされ、授業態度評価に影響します。各Unit修了毎に前UnitのReview Testを行うので、重要語句や文法の要点及びリスニング等の復習をしておくこと。シラバスの内容は学生の熟達度、受講生数、授業の進行状況により変更する場合がある。授業内課題はその都度、授業内にてフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-09					
	●	●									
科目名	STEP I				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	試験(筆記)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は、専門基礎科目で学修しているリスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。授業では、実用英語技能検定の過去問題を活用し、特に語彙、文法、リーディングに関した学修を行う。反復練習を繰り返し、英語力を強化することにより、実用英語検定試験受験への意欲を高めていく。										
到達目標	授業中に取り組む英検対策問題演習を通し、①英検筆記試験の問題構成を把握し、時間配分を意識して効率よく問題をとけるようになる。②問題（短文・長文）の中にある解答を導くヒントを正確かつ迅速に見つけ出すことができる。③長文問題のパラグラフ構造を理解し早く正確に内容を把握できる。										
学修者への期待等	英検 2 級の過去問題集を使用する。必ず対応箇所の予習復習を行うこと。特に予習時は実際の試験時に各問題に割り当てる目安の時間を意識しながら、辞書を使わずに解いてみることを。授業時は辞書などを必ず用意すること。各自で英検の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。授業の進捗、進捗の度合いによっては上位級である準1級の過去問題にも挑戦する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の導入 2022年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1)					テキストを購入し授業計画の内容を事前に行っておくこと (1時間程度)					
2	2022年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題2A～3A)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
3	2022年度 第3回英検2級過去問題演習③ (問題3B～3C)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
4	2023年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
5	2023年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題2A～3A)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
6	2023年度 第1回英検2級過去問題演習③ (問題3B～3C)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
7	英検2級過去問題演習（Listening演習①） （年度問わず過去問から適宜選ぶ）					リスニング試験への取り組み方に関して各自インターネットなどを利用して調べておくこと （1時間程度）					
8	2023年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
9	2023年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題2A～3A)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
10	2023年度 第2回英検2級過去問題演習③ (問題3B～3C)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
11	2023年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
12	2023年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題2A～3A)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
13	2023年度 第3回英検2級過去問題演習③ (問題3B～3C)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
14	英検2級過去問題演習（Listening演習②） （過去問前半部から適宜選ぶ）					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
15	まとめ（ライティング、二次面接に関する説明など）					今までに学修したことを復習し、語彙や表現をまとめること。インターネットなどで二次試験に関することを見ておくこと。（1時間程度）					
教科書	『2025年度版 英検 2級 過去6回全問題集』旺文社英検書 2025										
参考文献											
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 フィードバックは授業内にて解答解説時に行います。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

現代英語学科 2年生

(2024年度入学生)

- 年間予定表
- シラバス

2025年度 現代英語学科2年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月			1	2	3	4 オリエンテーション	5
	6	7 健康診断	8 1	9 1	10 1	11 1	12
	13	14 1	15 2	16 2	17 2	18 2	19
	20	21 2	22 3	23 3	24 3	25 3	26
	27	28 3	29 昭和の日	30	1	2	3 憲法記念日
5月	4 みどりの日	5 こどもの日	6 休日	7 4	8 4	9 4	10
	11	12 4	13 4	14 5	15 5	16 5	17
	18	19 5	20 5	21 6	22 6	23 6	24
	25	26 6	27 6	28 7	29 7	30 7	31
6月	1	2 7	3 7	4 8	5 8	6 8	7
	8	9 8	10 8	11 9	12 9	13 9	14
	15	16 9	17 9	18 10	19 10	20 10	21
	22	23 10	24 10	25 11	26 11	27 11	28
	29	30 11	1 11	2 12	3 12	4 12	5
7月	6	7 12	8 12	9 13	10 13	11 13	12
	13	14 13	15 13	16 14	17 14	18 14	19
	20	21 海の日	22 14	23 15	24 15	25 15	26
	27	28 14	29 15	30 月15	31 予備日	1 定期試験	2
8月	3	4 追試	5	6	7 不合格者発表	8	9
	10	11 山の日	12	13	14	15	16
	17	18	19 再試験	20	21	22	23 海外研修
	24 海外研修	25 海外研修	26 海外研修	27 海外研修	28 海外研修	29 海外研修	30 海外研修
9月	31 海外研修	1 海外研修	2 海外研修	3 海外研修	4 海外研修	5 海外研修	6 海外研修
	7 海外研修	8	9	10	11	12	13
	14	15 敬老の日	16 エアラインサービス	17 エアラインサービス	18 エアラインサービス	19 エアラインサービス	20
	21	22	23 秋分の日	24	25	26	27
	28	29 オリエンテーション 午後金曜授業	30 1				

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

2025年度 現代英語学科2年生 年間予定表

後期

	日		月		火		水		木		金		土	
10月							1	1	2	1	3	1	4	
	5		6	1	7	2	8	2	9	2	10	2	11	
	12		13	スポーツの日	14	3	15	3	16	3	17	3	18	
	19		20	2	21	4	22	4	23	4	24	⁴ 午後準備	25	せいよう祭
	26		27	3	28	5	29	5	30	5	31	5	1	
11月	2		3	文化の日	4	6	5	6	6	6	7	6	8	
	9		10	4	11	7	12	7	13	7	14	7	15	
	16		17	5	18	8	19	8	20	8	21	8	22	
	23	勤労感謝の日	24	休日	25	9	26	9	27	9	28	9	29	
12月	30		1	6	2	10	3	10	4	10	5	10	6	
	7		8	7	9	11	10	11	11	11	12	11	13	
	14		15	8	16	12	17	12	18	12	19	12	20	
	21		22	9	23	13	24	13	25	13	26		27	
	28		29		30		31		1	元日	2		3	
1月	4		5	10	6	14	7	14	8	14	9	13	10	
	11		12	成人の日	13	15	14	15	15	15	16	14	17	
	18		19	11	20	月12	21	月13	22	月14	23	15	24	
	25		26	15	27	予備日	28	定期試験	29	定期試験	30	追試	31	
2月	1		2		3		4		5		6	不合格者発表	7	
	8		9		10		11	建国記念の日	12	再試験	13		14	
	15		16		17		18		19		20		21	
	22		23	天皇誕生日	24		25		26		27		28	
3月	1		2		3		4		5		6		7	
	8		9		10		11		12		13		14	
	15		16		17	卒業式	18		19		20	春分の日	21	
	22		23		24		25		26		27		28	
	29		30		31									

※振替授業日については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。掲示にて確認してください。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-0-HCU-03				
				●	●					
科目名	World Mythology				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の方法	試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	Students taking this compulsory course will explore in-depth the world of mythological gods and beasts, and will come to learn how creation stories and ancient oral traditions served a vital role for early civilizations in making sense of the physical world. It should be noted that mythology has greatly influenced many of Shakespeare’s plays. This course will focus mainly on Greek, Roman, Norse, and Japanese cultures. Throughout this course, students will also gain a basic understanding of the Bible.									
到達目標	本講義では、DVD等を駆使し、英語圏社会との関わりにおいて必須とされる「教養」としての神話に対する基本的知識を培うことにより、言語、文化、及び歴史への理解を深めることができる。									
学修者への期待等	受講者間でのディスカッションやコメントシートなど、授業の内容に関して自身の意見をアウトプットする時間を設ける。アクティブラーニングへの積極的参加を期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	ギリシャ・ローマ神話への導入									
2	創世神話 ① ガイアとウラノスを中心に					資料精読 (概ね30分)				
3	創世神話 ② クロノスとレアを中心に					資料精読 (概ね30分)				
4	ダイダロスとイカロス					資料精読 (概ね30分)				
5	オルペウスとエウリュディケ					資料精読 (概ね30分)				
6	ペルセウスとメドゥーサ					資料精読 (概ね30分)				
7	テセウスとミノタウルス					資料精読 (概ね30分)				
8	ギリシャ・ローマ神話における英雄像					資料精読 (概ね30分)				
9	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の世界					資料精読 (概ね30分)				
10	旧約聖書 創世記から出エジプトまで					資料精読 (概ね30分)				
11	新約聖書 マタイとマルコの福音書について					資料精読 (概ね30分)				
12	新約聖書 ルカとヨハネの福音書について					資料精読 (概ね30分)				
13	イスラム教の聖典に描かれている「ノアの方舟」					資料精読 (概ね30分)				
14	エジプト神話 オシリスの神話を中心に					資料精読 (概ね30分)				
15	シェイクスピア作品のモチーフとなった神話					資料精読 (概ね30分)				
教科書	講義にてプリントを配布する									
参考文献	講義中に適宜指示する。									
備考	課題については採点し、授業内でフィードバックする。状況により遠隔授業に変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
				●	●	CE-0-HCU-03				
科目名	歴史と文化				単位 認定者	小原 豊志		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
					授業形態	講義	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目は英語を専門とする学生たちが教養として知っておくべき「歴史と文化」をアメリカ史を中心に学ぶ授業である。とりわけ、アメリカ合衆国における人種と宗教に焦点をあて、白人性と福音主義の生成・発展過程を追跡することにより、現代における人種差別問題や反知性主義現象を理解することを目指す。授業の前半部は黒人(奴隷)問題の展開について、後半部はアメリカ独特のキリスト教の展開について視聴覚教材を用いつつ講義を行う。受講生には授業の感想を提出してもらったり、お互いに意見交換をしてもらったりして、双方向の授業を展開する。									
到達目標	世界に対して大きな影響力を有するアメリカ合衆国のさまざまな歴史事象において人種や宗教がいかなる役割を演じたかを理解する。また、これによって、現代世界における人種(民族)差別問題や宗教的原理主義に対する洞察力を身につける。									
学修者への期待等	授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。									
回	授業計画					準備学修				
1	現代アメリカの人種問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
2	「人種」とは何か					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
3	黒人奴隷制度とアメリカの独立					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
4	黒人奴隷制度とアメリカの発展					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
5	南北戦争への道					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
6	南北戦争と奴隷解放					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
7	奴隷解放後の黒人問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
8	公民権運動と黒人問題:1950年代の運動の特質					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
9	公民権運動と黒人問題:1960年代の運動の特質					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
10	公民権運動後の黒人問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
11	現代アメリカとキリスト教					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
12	植民地期のキリスト教—ピューリタニズムと「大覚醒」					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
13	独立革命とキリスト教					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
14	信仰復興運動とキリスト教原理主義					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
15	映画に見るキリスト教原理主義					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)				
教科書	教科書は使用せず、授業において資料を配布します。									
参考文献	授業時に適宜指示します。									
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。課題については授業でフィードバックを行い、レポートはコメントを付して返却する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-04				
	●			●						
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 一樹		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。									
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。									
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	法律の種類と法律を学ぶ意味					法律に関するイメージを自分なりに持つておくこと（30分程度）				
2	憲法（１）基本的人権 一平等権、精神的自由等一					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
3	憲法（２）基本的人権 一経済的自由、その他の人権一					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
4	憲法（３）人権総括、統治機構					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
5	民法（１）総則					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
6	民法（２）物権					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
7	民法（３）債権（契約等）					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
8	民法（４）債権（不法行為）					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
9	民法（５）親族・相続					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
10	刑法（１）総論					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
11	刑法（２）各論					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
12	会社法（１）総論、株式					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
13	会社法（２）機関、組織再編					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
14	消費者法					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
15	その他の重要な法律					前回講義の内容についてレジュメを参照して復習すること（30分程度）				
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配布する。									
参考文献	適宜講義内で紹介する。									
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。講義内容は、進度に応じて変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-03				
	●				●					
科目名	現代の社会				単位認定者	劉 曉玥		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		※筆記試験はマークシート（55%）とレポート（25%）を同時内に実施 ※詳細は備考欄を参照すること。	
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	現代の日本が世界の中でどのような立場にあるか、初めに日本及び主な国の文化・思想・宗教ならびに近代の歴史を学ぶことから理解をする。そのうえで政治・経済の視点を軸にして現代の日本の様々な問題点について学修し、現代の社会を生きるために不可欠な基本知識を身につけ、社会生活において適切な選択や判断ができることを目指す。									
到達目標	取り上げるテーマは、いずれも社会人として当然備うるべき常識と考えられる事項である。社会生活自体はもちろんのこと就職活動における面接等でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようになることを目標とする。									
学修者への期待等	「自立した大人」になるための下地を作ってほしいという観点から、各人の専攻に関わらず社会人として当然知っておくべき事項を取り上げる。一般的な知識を修得し、良き職業人を目指すという意欲をもって受講してほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	「現代の社会」導入（現代世界概観とSDGs）				私たちを取り巻く現代社会の特徴を列挙し、「現代社会」とSDGsを学ぶ意味を考察すること。当日の確認テストに備えること。（30分程度）					
2	現代社会の誕生と特質（歴史的な出来事と現代社会のさまざまな側面）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
3	グローバリゼーションと国際問題・異文化理解				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
4	テクノロジーと社会（特にデジタル化、AIの影響）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
5	環境問題と持続可能な社会（特に脱炭素、循環型社会の形成）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
6	一般廃棄物リサイクルの課題と可能性（特にプラスチックごみ問題）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
7	現代の経済社会（特に経済格差と多様化、グローバル化する世界経済）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
8	消費者問題（消費者問題の歴史、消費者を保護するための法制度について）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
9	労働問題（働き方改革、労働格差、外国人労働者について）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
10	少子高齢化と国民の福祉（その原因と対策、社会保障の概要について）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
11	政治と民主主義（特に現代の政治システムと市民参加）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
12	社会的不平等と貧困問題				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
13	教育の役割と変化（教育制度の進化と教育格差）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
14	現代社会と人間（特に自己形成、社会と個人の関係）				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
15	現代社会と将来（特にコロナ禍による課題とアフターコロナの世界） レポート作成に当たって				前回の講義内容を復習し、当日の確認テストに備えること。（45分程度）					
教科書										
参考文献	必要に応じて授業中に提示する									
備考	試験は、同時刻内にマークシート解答（55%）とレポート作成（25%）を実施する。レポート作成の要領については講義内で説明するので集中して聞くこと。なお、持込一切不可である。 受講態度は、確認テスト解答で判断するが、白紙など不誠実なものは減点或いは評価しない。（課題の解説は次回講義の際に講義内で行なう）。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-01				
		●			●					
科目名	Oral CommunicationⅢ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク (Aクラス)		評価 の方法	授業内課題等(小テスト、 ふりかえり等)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。									
到達目標	身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディスカッションできる力を身につける。									
学修者への 期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内に、毎回グループワークを行う。尚、Unit を終える度にReview Quiz を課す。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 What is discussion? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					教科書の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 1 The world of advertising ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
3	Unit 2 Online Advertising ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 3 Going to extremes ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
5	Unit 4 Winning at any cost ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
6	Unit 5 Our aging population ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
7	Unit 6 Do you want to live forever? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 1～6で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
9	Unit 7 Robots in the home ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 7の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	Unit 8 I lost my job to a machine ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 8の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
11	Unit 9 Animals Our research partners? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 9の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	Unit 10 Treatment of animals ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 10の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
13	Unit 11 Online (Dis)information ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 11の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
14	Unit 12 News: Fact or fake? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 12の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
15	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 7～12で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
教科書	In Focus 1. Charles Browne, Brent Culligan. Joseph Phillips 金星堂									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-01				
		●			●					
科目名	Oral CommunicationⅢ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク (Bクラス)		評価の 方法	授業内課題等(小テスト、ふりかえり)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。									
到達目標	将来のキャリアと継続学修に役立つような英語を駆使する能力を獲得し、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書、ノート等を必ず持参してください。授業内でおこなうグループワークと ディスカッションの際には、積極的な参加が期待されます。また、英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。What is discussion? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					教科書の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 1 Friends ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
3	Unit 2 Entertainment ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 3 Eating in or eating out? ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
5	Unit 4 Fashion ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
6	Unit 5 Music ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
7	Unit 6 Sports ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 1～6で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
9	Unit 7 Shopping ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 7の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	Unit 8 Travel ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 8の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
11	Unit 9 Technology ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 9の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	Unit 10 Holidays & Celebrations ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 10の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
13	Unit 11 Part-time jobs ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 11の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
14	Unit 12 Science & Innovation ディスカッション練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 12の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
15	ふりかえり：学習範囲の理解度を振り返りテストにて確認する					Unit 7～12で学修したことを復習すること。 (概ね2時間)				
教科書	In Focus INTRO. Charles Browne, Brent Culligan, Joseph Phillips. 金星堂									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-14				
		●	●		●					
科目名	Oral Communication IV				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価の方法	授業内課題等 (小テスト、ふりかえり)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「Oral CommunicationⅢ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。									
到達目標	身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディベートできる力を身につける。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内に、毎回グループワークを行う。尚、Unit を終える度にReview Quiz を課す。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1 Have An Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッション					Unit 1の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Unit 1 Have An Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
3	Unit 2 Explaining Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (1)					Unit 2の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	Unit 2 Explaining Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
5	Unit 3 Support Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (2)					Unit 3の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
6	Unit 3 Support Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
7	ミニディベートⅠ: 個別のトピック					ディベートの準備 (概ね1時間)				
8	Unit 4 Organizing Your Opinion: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (3)					Unit 4の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
9	Unit 4 Organizing Your Opinion: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
10	Unit 5 Refuting Explanations: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (4)					Unit 5の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
11	Unit 5 Refuting Explanations: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
12	Unit 6 Challenging Supports: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (5)					Unit 6の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
13	Unit 6 Challenging Supports: Language, Practice & Debate グループワークとディスカッション									
14	Unit 7 Organizing Your Refutation: Discover & Model グループワークとディスカッションReview Quiz (6)					Unit 7の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
15	ミニディベートⅡ: 個別のトピック					ディベートの準備 (概ね1時間)				
教科書	Discover Debate. Charles LeBeau. Language Solutions									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
		●			●	CE-2-EAD-10				
科目名	ListeningⅢ				単位 認定者	相田 明子		評価 の方法	授業内課題等	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目の目的は、「映画英語」を通して、近現代の英語表現を理解することである。言葉は常に変化していくものであり、特に現代においては瞬く間に古い表現が変わっていく。その意味で「映画英語」は如実に時代を反映していると言える。はじめは字幕なしで、次は字幕ありで、聞き取れないところは何度も繰り返し流し、台詞を暗記に近い状態で覚え、その表現を自分のものにしていく。また、映画に描かれている文化背景についても、理解を深めることを目標とする。									
到達目標	ListeningⅠ・ListeningⅡの学修を経たAdvanced Classとして、中級程度(CEFR B1)のレベルの教材を使用し、より高度なリスニング能力を習得する。映画を使った学習を通して、自分に身近な事柄だけでなく、社会や職業の世界で遭遇する話題について理解できるようになる。									
学修者への期待等	映画は学習用の教材として作られたものではないため、聴き取りが難しいことは当然です。指示された予習をした上で受講に臨むこと、集中力を持続して受講できること、語学だけではなく映画のストーリーや文化・社会背景にも興味を持ち「映画」という媒体を楽しんで学修する姿勢が求められます。受講者は英検2級程度以上の聴解力があることが望ましい。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業のIntroduction / Notting Hill 視聴					本シラバスをよんでおく/教科書を準備する(15分程度)				
2	Notting Hill 視聴					映画Notting Hillについて調べておく(15分程度)				
3	Unit 1 William's Notting Hill & 'She'					Unit 1 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
4	Unit 2 Surreal、 But Nice					Unit 2 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
5	Unit 3 A Goddess Is A Movie Star					Unit 3 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
6	Unit 4 Birthday Party					Unit 4 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
7	Unit 5 A Date With Anna					Unit 5 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
8	Unit 1～5 ふりかえり：英語表現と語彙力小テスト					これまでのUnitをふりかえり、英語表現と語彙をよく復習する(40分程度)				
9	Unit 6 She's Gone					Unit 6 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
10	Unit 7 She's Back					Unit 7 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
11	Unit 8 Rude Awakening -Ain't No Sunshine					Unit 8 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
12	Unit 9 Like Me Again					Unit 9 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
13	Unit 10 The Right Decision -The Meaning of My Life Is She					Unit 10 Previewing予習、前UnitのVocabularyの復習(30分程度)				
14	Unit 6～10 ふりかえり：英語表現と語彙力小テスト					これまでのUnitをふりかえり、英語表現と語彙をよく復習する(40分程度)				
15	ふりかえり：Listening & Speaking					音声ストーリーミングを活用するなどし、映画のスク립トを総ざらいしておく(60分程度)				
教科書	『Notting Hill New Format Edition』Richard Curtis著、松柏社									
参考文献	必要に応じて授業内で指示する。									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する必要がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。遅刻は授業開始10分以内とする。状況により、遠隔授業に変更する必要がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-15				
		●			●					
科目名	ListeningIV				単位認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題 (小テスト、ふりかえり) 等	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	「ListeningⅢ」で学修した内容を踏まえ、英語ニュースや英語プレゼンテーション番組、著名人のインタビュー等多様な英語を題材に、特定の情報の聴き取りや話の趣旨が理解できるリスニングスキルを身につけることを目的とする。ディクテーションや多聴を行いながら、話者の違いによる発音や発話速度を理解し、間違いなく内容を聴き取れるようになることを企図する。迅速で的確に内容を把握するリスニングスキルを身につけることで、さらなるコミュニケーション能力の向上につなげる。									
到達目標	Advanced Classとして、ニュースキャスターや該当インタビューを受けるネイティブスピーカーが話す自然な英語を聴きとることで、リスニング能力ならびに語彙力を向上させることを目的とする。									
学修者への期待等	実際に放送されたBBC（英国放送協会）のニュースを教材とします。インタビューの箇所では様々なネイティブスピーカーの話す英語の聴き取りに挑戦します。指示された予習をした上で受講に臨むこと、集中力を持続して受講できること、政治、環境、文化、医療、科学技術などのトピックに触れながら、イギリスや世界の情勢に興味を持ち学修できる姿勢が期待されます。受講者は英検2級程度以上の聴解力があることが望ましい。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業のIntroduction Unit 1 Ice Cream: A New Heritage Flavour Listening & Dictation					本シラバスを読んでおく 教科書を準備し、Unit 1 Setting the SceneとBuilding Languageに解答しておく（30分程度）				
2	Unit 2 Selling Fashion to Help a Community Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 2 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
3	Unit 3 The Floods of Storm Henk Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 3 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
4	Unit 4 A London Sauna Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 4 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
5	Unit 5 Workers from Overseas Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 5 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
6	Unit 6 Welsh Place Names: In English or in Welsh? Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 6 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
7	Unit 7 Power from the Scottish Sea Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 7 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
8	Unit 8 Volunteers Preserving the White Horse Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 8 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
9	Unit 9 Lifting Men's Spirits with The BroProject Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 9 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
10	Unit 10 Eating at the Cornwall Show: Plants or Meat? Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 10 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
11	Unit 11 The Impact of Artificial Intelligence Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 11 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
12	Unit 12 Traditional Skills Needed to Save Old Buildings Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 12 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
13	Unit 13 Antisemitism in the UK Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 13 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
14	Unit 14 Learning How to Capture Carbon Listening & Dictation、前章のVocabulary Test					Unit 14 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				
15	Unit 15 How Can Scotland Gain Independence? Listening & Dictation、前章のVocabulary Test これまで学修した内容についてふりかえる					Unit 15 Setting the SceneとBuilding Languageの予習 Vocabulary Testの準備（40分程度）				

回	授業計画	準備学修
教科書	『British News Update 7』 Timothy Knowles 他、金星堂	
参考文献	授業内で指示する	
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。遅刻は授業開始10分以内とする。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-03					
		●			●						
科目名	ReadingⅢ				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間				
						授業回数	15 回				
授業の概要	本科目は、英語ニュースや英字新聞などを題材として、時事問題に関する英語語彙、英語表現の獲得を目的とする。メディア英語に特有の文法事項、表現や略語等についても学ぶ。 題材としては、BBCやCNNなどの実際のニュース映像を用い、語彙や表現を身につけるだけでなく、リスニングスキルの向上を図っていく。世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。										
到達目標	米有力紙The Wall Street Journal中で世界へ「いま一番新しい日本」をレポートしている連載記事Japan Real Timeを題材にメディアの中で使われる英語に親和し、同時にニュースへの関心を高めることが目標である。身近なトピックが英語でどのように伝えられているかを学び、語彙や表現の幅を広げる。										
学修者への 期待等	授業にはテキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）を必ず持参すること。授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、トピックに関する周辺情報まで調べておくこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	Unit 1 5 Things You Didn't know About Kawaii Kawaiiの美学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
2	Unit 2 Uniqlo Finds Wealth of Data in Bangladesh Not-For-Profit Venture ユニクロが蓄積したお宝データ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 2の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
3	Unit 3 When the B List Is Best 味が勝負のB級グルメ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 3の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
4	Unit 4 Harvard Degree: The Political Economy of Kumamon くまモンの政治経済学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 4の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
5	Unit 5 Saving Fukuoka's Street Food 福岡の屋台文化の歴史					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 5の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
6	Unit 6 A Japanese Artist Finds New Life A Year After the Quake ある芸術家の再生と「成長」					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 6の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
7	Unit 7 Fictional Japanese TV Banker Takes Double the Payback ドラマ『半沢直樹』ヒットの要因					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 7の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
8	Unit 8 As Sentiment Improves、Red Lipstick Back in Vogue 赤い口紅と景気の関係					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 8の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
9	Unit 9 Japan's Aging、Female Criminals? 女性受刑者の倍増と犯罪のグローバル化					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 9の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
10	Unit 10 Cult TV Travelogue Lets you Share Wednesday's Ride 『水曜どうでしょう』ロングヒットの秘密					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 10の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
11	Unit 11 Want to Cosplay? Then Lose That Sword コスプレを安全に楽しむ方法					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 11の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
12	Unit 12 Fukushima Watch: Who Wrote the New Anti-Nuke Novel? 反原発の新刊本を書いたのは誰？					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 12の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
13	Unit 13 For Some、Scented Fablic Softeners No Laughing Matter 柔軟剤の流行と弊害					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 13の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
14	Unit 14 The 1964 Tokyo Olympics: A Turning Point for Japan オリンピックに見る日本のターニングポイント	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 14の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
15	Unit 15 New for Valentine's Day in Japan: No Men バレンタインデーの新潮流	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 15の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
教科書	『日本で起きている15のあらゆること』 宮本文 2016 松柏社	
参考文献	授業内で随時指示	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-07					
		●		●	●						
科目名	ReadingIV				単位 認定者	小松 義隆		評価の 方法	レポート	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	10	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	一連のReadingの授業の集大成として、文学作品（簡易版）を通しての精読に挑戦することを目的とする。物語内容や執筆当時の歴史文化背景を合わせて学びながら一語一語丁寧に読みを進めることによって物語への造詣を深める。作品当時の文物や登場人物の表現や言い回しに触れて、英語および英語圏への更なる興味深化へつなげる。										
到達目標	①作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。 ②精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。 ③簡易版ではあるが1作品を翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。										
学修者への期待等	簡易版ではあるが英文学作品として代表的なGulliver's Travelsを精読し、翻訳していく。当時（18世紀）の時代背景についても合わせて調査し、児童文学作品としての同作では出てこない内容にや風刺（作者のJonathan Swift）についても理解を深めていく。精読の授業であるので作中の言葉1語1語の意味や表現について丁寧に扱っていく。本授業で扱うトピックに興味をもって参加することを期待します。										
回						準備学修					
1	授業のイントロダクション（授業の進め方とルール） テキストへの導入と購読					テキストを各自購入しておき、テキストの構成を概観して読書 翻訳計画を立てておいてください。（概ね1時間）					
2	作品講読と翻訳（1.A voyage to Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
3	作品講読と翻訳（2.Life in Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
4	作品講読と翻訳（3.Lilliput at war中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
5	作品講読と翻訳（4.Gulliver escapes from Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
6	作品講読と翻訳（5.A voyage to Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
7	作品講読と翻訳（6.Gulliver and his master中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
8	作品講読と翻訳（7.At the King's palace中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
9	作品講読と翻訳（8.More adventures in Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
10	作品講読と翻訳（9.Gulliver escapes from Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
11	作品講読と翻訳（10.The flying island of Laputa中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
12	作品講読と翻訳（11.Glubbubdrib and Luggnagg中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
13	作品講読と翻訳（12.A voyage to the country of the Houyhnhnms中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
14	作品講読を通して得た情報や知識のまとめ、内容の要約・感想文作成と発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）					
15	児童文学の発展（ヴィクトリア朝の児童文学、絵本・挿絵について）講義とテキストの読解					これまでの精読と翻訳の振り返り、翻訳・単語表現ノートの振り返りとまとめ（概ね2時間）					
教科書	Oxford Bookworm Library Jonathan Swift Gulliver's Travels(Stage 4) Oxford University Press ISBN:978-0-19-479173-1										
参考文献	授業内で指示する										
備考	①内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 ②状況により、遠隔授業になる場合があります。 ③授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
		●	●			CE-2-EAD-02					
科目名	Business Communication				単位 認定者	マーチー サム		評価 の方法	授業内課題（期末テスト）	20	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業参加姿勢	20	%
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間		発表内容	60	%
						授業回数	15 回				
授業の概要	本科目では、基本的なビジネスの場に必要な丁寧な英語表現を学習し、実際のビジネスシーンで活用できるようにすることを目的とする。 具体的には、電話応対、アポイントメント調整、トラブル対応などの状況において、重要な用語や表現を学び、反復練習を通して、定着を図る。さらに、ロールプレイングを取り入れ、積極的に英語で会話することにより、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーション能力を培っていく。										
到達目標	本授業では、学生がビジネスシーンにおいて会話の質の向上に貢献できる英語力と思考力を養う。大手企業やビジネスの時事ネタについて対談力を深めることを目指す。また、最新のビジネストレンドを英語で理解・議論する力を培い、国際的な職場でのコミュニケーション力を向上させる。										
学修者への期待等	指定課題は必ず読む。そして、設問やライティング課題を必ず完成させた上で、授業に望むこと。事前準備の度合いが各授業から学べる内容の大小を大きく左右するという意識をもって、15回の授業に臨む。										
回	授業計画					準備学修					
1	Introducing Yourself（同僚や取引先との初対面の際の挨拶について、Past-Present-Future ロールプレイ）					シラバスやコース説明のプリントを熟読しておくこと。指定されたReading課題を行うこと。（1.5時間程度）					
2	Excellent Customer Service---FedEx FedExの話からのビジネスにおける教訓を学び、話す					Business Sense Unit 1 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
3	Google-The Students Behind the Giant Googleの歴史から学べるビジネスにおける教訓を学び、話す					Business Sense Unit 2 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
4	Emotional Intelligence in the Workplace 職場におけるEQについての知識を学び、話す					Business Sense Unit 3を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
5	Toyota-R&D Powerhouse トヨタの研究開発力と歴史についての知識を学び、話す					Business Sense Unit 4 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
6	Speech 発表					スピーチの準備（発音、文法など復習し、内容を暗記する）（1.5時間程度）					
7	Harley Davidsonの企業の歴史を学び、ディスカッション					Business Sense Unit 6を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
8	Women in Business---ビジネスにおける女性の活躍と必要性について学び、ディスカッション					Business Sense Unit 8を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
9	Responding to Customer Complaints (Why and How) Responding to Customer Demands and Objections					事前に指定された資料を熟読する。（1.5時間程度）					
10	Fighting African Poverty With Cell Phones: Thinking and Discussing SDGs. SDGsについての会話力向上					Business Sense Unit 9 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
11	The Creative Vison of Walt Disney： ビジョンの必要性について話す力をつける					Business Sense Unit 10 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
12	Role-Play Test（Interview Q and A Format）					発表テストのために、事前に準備をし、練習をする。（1.5時間程度）					
13	Big-Banks, Big Problems---Deepening an understanding of Risk and Reward. リスクと恩恵について学び、話せるようになる					Business Sense Unit 12 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
14	Ben and Jerry's: Ice Cream and Social Activism: 事業と社会福祉活動の連携、ビジネスに繋げることを学び、Discussion					Business Sense Unit 15 を熟読し、事前に指定された設問を全部解く。（1.5時間程度）					
15	期末テストと解説					期末テストの復習。（1.5時間程度）					
教科書	『Business Sense』 Anderw E. Bennett著 南雲堂 978-4-523-17742-5										
参考文献	授業中に適宜紹介する。										
備考	小テスト等のフィードバックは返却の際に行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位 認定者	小松 義隆 (Aクラス)		評価 の 方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction、Body、Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。									
到達目標	1. WritingやReadingに必要な語彙知識を固め、Essayの読み書きに応用できる。 2. Essay Writingの基礎を学び、段落構成の整った300語以上の英作文ができるようになる。 3. Essayの構造を知り、Reading能力を高め、効率的に英文が読めるようになる。									
学修者への期待等	辞書必携。 テキストは「日本文化の再発見」をテーマにしており、対外的に説明・紹介する機会も多い内容と考えられます。改めて日本文化について理解を深めるとともに、読者が読みやすい文章を構成する方法を学んでください。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の進め方・ルールについて。 Unit 1 The Story of Wagashi 1人称・2人称を使わずに客観的に書く					Unit 1 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
2	Unit 2 Architecture: Japanese Castles 文の繋がりを意識する					Unit 2 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
3	Unit 3 Matsuri : Festivals in Japan ほぼ同じ意味を持つ別の表現を考えてみる					Unit 3 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
4	Unit 4 Japanese Corporate Culture Paragraphの基本構造を理解する					Unit 4 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
5	Unit 5 Examination War Topic SentenceからSupporting Sentences					Unit 5 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
6	Unit 6 Uniqueness of Japanese Trains Supporting SentencesからSupports					Unit 6 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
7	Unit 7 The Key to Long Life 本論の展開方法を覚える1：理由や根拠					Unit 7 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
8	Unit 8 Distinct Style or Neglect of Identity 本論の展開方法を覚える2：時系列					Unit 8 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
9	Unit 9 Drinking Rituals 本論の展開方法を覚える3：意見の並列					Unit 9 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
10	学修成果の確認（TOEIC IP受験）					TOEICの問題形式を確認し、必要な準備を行う（概ね1時間程度）。				
11	Unit 10 Traditional Crafts in Japan 序論・本論・結論の役割					Unit 10 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
12	Unit 11 Home Video Game Consoles from Japan 結論を書いてみる					Unit 11 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
13	Unit 12 Onsen Hot Springs 序論を書いてみる					Unit 12 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
14	Unit 13 Folktales: Sensitivity to Thing and Nature 集めた資料からアウトラインを作る					Unit 13 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				
15	Unit 14 Mythologies and Legends:Sence of Time アウトラインに沿って下書きをしてみる					Unit 14 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
教科書	『Writing Skills for Readers～日本文化の再発見から学ぶエッセイの書き方・読み方～』、日本英語表現学会テクニスト研究部会、 2021 南雲堂	
参考文献	授業時に適宜指示する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	
※以下は該当者のみ記載する。		
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)		

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位 認定者	小松 義隆 (Bクラス)		評価 の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction、Body、Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。									
到達目標	1. Paragraph Writingの基礎〔書式(format)、構造(structure)、表現(expression)]をしっかりと身につける。 2. 英語の論理構成(logic)と展開法(organization)にのっりの確に自分の考えを伝えることができる。 3. 論理的な議論の展開（場合によっては日本語のそれとは違った）方法の基礎を学べる。									
学修者への 期待等	辞書必携。 テキストはアンケートやブレインストーミング形式の問題に答えて、各Unitで扱うトピックについての知識や考えを整理する形式です。意見交換でトピックに関する考えを深め、様々な考えや情報を書き出すことにより実際に書く際の材料にしてください。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の進め方・ルールについて。 Unit 1 Paragraphの構造					Unit 1 P.9～14まで予習しておく（概ね1時間）				
2	Unit 2 Topic Sentenceとは					Unit 2 P.15～20まで予習しておく（概ね1時間）				
3	Unit 3 Supporting Sentenceとは					Unit 3 P.21～26まで予習しておく（概ね1時間）				
4	Unit 4 Concluding Sentenceとは					Unit 4 P.27～32まで予習しておく（概ね1時間）				
5	Unit 5 人や物について説明してみよう (Listening/Examples)					Unit 5 P.33～38まで予習しておく（概ね1時間）				
6	Unit 6 まちの歴史や未来について考えてみよう（Time Order）					Unit 6 P.39～44まで予習しておく（概ね1時間）				
7	Unit 7 食べ物を分類してみよう（Classification）					Unit 7 P.45～50まで予習しておく（概ね1時間）				
8	Unit 8 二つの国の類似点と相違点について考えてみよう (Comparison & Contrast)					Unit 8 P.51～56まで予習しておく（概ね1時間）				
9	Unit 9 社会の変化について書いてみよう（Cause & Effect）					Unit 9 P.57～62まで予習しておく（概ね1時間）				
10	後期の学修成果確認（TOEIC IP受験）					TOEIC IPの形式について確認しておく（概ね30分程度）				
11	Unit 10 社会課題の解決策を考えてみよう（Problem-Solution）					Unit 10 P.63～68まで予習しておく（概ね1時間）				
12	Unit 11 ParagraphからPresentationへ1（Introduction）					Unit 11 P.69～74まで予習しておく（概ね1時間）				
13	Unit 12 ParagraphからPresentationへ2（Body）					Unit 12 P.75～80まで予習しておく（概ね1時間）				
14	Unit 13 ParagraphからPresentationへ3（Conclusion）					Unit 13 P.81～86まで予習しておく（概ね1時間）				
15	Unit 14 Evaluation					Unit 14 P.87～91まで予習しておく（概ね1時間）				
教科書	『Message Delivered <Intermediate>』レオニード・ヨッフエ、西村 厚子他 2020 南雲堂									
参考文献	授業時に適宜指示する。									
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-16				
		●	●		●					
科目名	Business Writing				単位認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題（小テスト）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題(単語テスト、レポート)等	35 %
						授業時間数	30 時間		発表内容	15 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	2年前期で履修する「Business Communication」では、ビジネスの現場で必要となる英語コミュニケーションの基礎（語彙や表現）について学修する。2年後期の履修となる本科目では、「Business Communication」で得た知識を基に、海外企業との取引や同僚との連絡の際に必要なビジネス文書について学修する。モデルとなるビジネスメールを読み理解することから始め、最終的には、取引先や顧客、同僚や上司とのやりとりを含め、ビジネスの現場で、用件を的確に伝え、相手との心理的距離を縮めるために効果的でプロフェッショナルなemailを、様々な場面を想定しながら書く、または返信することが出来るようになる。									
到達目標	グローバルなビジネスの現場において、取引先と適切なコミュニケーションを行うための媒体として、必要とされる書状やe-mailの作法を習得し、実践できるようになる。									
学修者への期待等	毎回の授業準備（提出課題や語彙復習等）を行うこと。授業中に学ぶ語彙や英語表現を用いて、英語でのビジネス文書やe-mailの作成に取り組むこと。ロールプレイやグループワークを行う場面では、積極的な取り組みが期待される。単語テストや小テストは必ず受けること。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1 Introducing Yourself（同僚や取引先との初対面の際の挨拶について、ロールプレイ、e-mail作成）					シラバスやコース説明のプリントを熟読しておくこと。指定されたReading課題を行うこと。（1.5時間程度）				
2	Unit 2 Introducing Companies（他社に自社を紹介する方法を身に着ける。グループワーク）e-mail作成 Useful Vocabulary ①					音声を聴き、“Reading”(The Oldest Companies in the World)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
3	Unit 3.Explaining Your Role（自分や自分の属すチームの業務内容を説明する。問題練習、解説）単語テスト①					音声を聴き、“Reading”(Crazy Job Titles)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。単語テストの準備。（1.5時間程度）				
4	Unit 4.Checking Information（聞き取れない・理解できない事柄を聞き直す。グループワーク、問題練習、解説）e-mail作成					音声を聴き、“Reading”(Features Versus Benefits)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
5	Unit 5 Checking Information（聞き取れなかった・理解できなかった情報をどのように確認するか。グループワーク）e-mail作成 Useful Vocabulary ②					音声を聴き、“Reading”(The Importance of Asking Questions)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
6	Unit 6 Giving Your Opinion（自分の意見をはっきりと言う。プレゼンテーション）e-mail作成 単語テスト②					音声を聴き、“Reading”(Let’s get Straight to the Point)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。単語テストの準備。（1.5時間程度）				
7	Unit 7 Making Request（相手の要求に応える、自分の願いを告げる。問題練習、解説）e-mail作成 / Unit 1～7までの小テスト					音声を聴き、“Reading”(Saying No)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。Unit 1～7までの復習をする。（3時間程度）				
8	Unit 8 Asking Permission（許可を取る、与える、断るための表現。ロールプレイ）e-mail作成 Useful Vocabulary ③					音声を聴き、“Reading”(What’s GDPR?)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
9	Unit 9 Making Invitations（招待をする、断る、受けるための表現を学ぶ、書状作成）e-mail作成、単語テスト③					音声を聴き、“Reading”(Taking a Guest to a Restaurant)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。単語テストの準備。（1.5時間程度）				
10	Unit 10 Making Appointments（会議の時間を調整する、問題練習、解説）e-mail作成					音声を聴き、“Reading”(Schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
11	Unit 11 Cancelling and Rescheduling（会議の予定を立てる、キャンセルする。問題練習、解説）e-mail作成					音声を聴き、“Reading”(How to schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
12	Unit 12 Describing Locations（社内や街で場所を尋ねたり、案内が出来るようになる。問題練習、解説）e-mail作成 Useful Vocabulary ④					音声を聴き、“Reading”(Apples’s New “Spaceship Campus”)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				
13	Unit 13 Looking after a Visitor（訪問者に対する応対。問題練習、解説）e-mail作成 単語テスト④					音声を聴き、“Reading”(To give or not to give)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。（1.5時間程度）				

回	授業計画	準備学修
14	Unit 14 Making a Phone Call (電話の応対とその後のe-mail。グループワーク、問題練習、解説) e-mail作成	音声を聴き、“Reading”(LINE)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。(1.5時間程度)
15	Unit 15 Taking Messages (電話で伝言を聞き、伝えるための表現。問題練習、解説) e-mail作成 / Unit 8～15までの小テスト	音声を聴き、“Reading”(When to call and when to email)を読む。指定されたworksheet, Reading課題を行う。Unit8～15の復習をする。(3時間程度)
教科書	『Go Global』Garry Pearson他 成美堂	
参考文献	授業中に適宜紹介する。	
備考	小テスト、提出物等のフィードバックは返却の際に行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。遅刻は授業開始10分以内とする。また、状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング CE-2-EAD-08					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
		●			●						
科目名	English for Tourism				単位 認定者	尾形 まゆみ		評価の 方法	授業内課題（プレゼンテーション）	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		Vocabulary Quiz、授業内課題	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、近年増加の一途を辿っている訪日観光客に対応するための英語力及びコミュニケーション能力を培うことである。空港や駅、ホテル、商業施設など、観光・旅行などの現場で必要とされる英単語や英語表現を学ぶ。また、旅行時の病気・けが等に対応するための表現も学修する。 特に、リスニング力とスピーキング力を向上させ、世界の様々な地域からの観光客に対応できることを企図する。観光案内等のロールプレイングも取り入れ、実践的に学修する。										
到達目標	1. 観光に関する表現・語彙を理解し、コミュニケーションに活かすことができる。 2. 国内観光、海外観光に関する諸事情に関心を持ち、日々のニュース等から、自ら知識や興味の幅を広げることができる。										
学修者への期待等	指定教科書は必ず購入する（1回目の講義で指示）。指定課題は期日厳守で提出すること。受け身ではなく積極的に学修し、テキスト外の社会事象にも関心を持つことを期待する。学修成果の確認として、観光英語検定2級（3級）の受験を薦める。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方（予習・復習）の確認 Unit 1(World Tourism)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
2	Unit 1 Professional Skills (Checking and Confirming Details)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					15ページ Confirming Bookingのライティング課題を仕上げる（概ね30分）。					
3	Unit 2(Jobs in Tourism)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
4	Unit 2 Professional Skills (Covering Letters)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Role playのためのスクリプトを考えておく（概ね1時間）。					
5	Unit 3(Visitor Center)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
6	Unit 3 Professional Skills (Dealinig with Enquiries)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Case Studyを参考にしながら、Website Evaluationを仕上げる（概ね40分）。					
7	Unit 4(Package Tours)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
8	Unit 4 Professional Skills (City Tours)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Case Studyを参考にしながら、City Tourを仕上げ、発表するための準備をする（概ね60分）。					
9	Unit 5(Hotels)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
10	Unit 5 Professional Skills (Dealing with Complaints)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Role playのためのスクリプトを考えておく（概ね1時間）。					
11	Unit 6(Food & Beverage)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
12	Unit 6 Professional Skills (Meeting Customers' Needs)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Case Studyを参考にしながら、Menuの提案を仕上げる（概ね40分）。					
13	Unit 7(Nature Tourism)の学修：Listening, Speaking, Reading, Vocabulary					復習として範囲のVocabularyを学修する（概ね40分）。					
14	Unit 7 Professional Skills (Structuring a Presentation)の学修 & Case Studyのグループワーク ディスカッション					Case Studyを参考にしながら、Nature Toursの提案を仕上げる（概ね40分）。					
15	プレゼンテーション					トラベルプランナーになり、与えられた条件に合う旅行プランを計画し、パワーポイントスライドを用意し、英語で発表する準備をする（概ね5時間）。					
教科書	English for International Tourism Pre-Intermediate New Edition. Iwonna Dubicka & Margaret O'Keeffe. Pearson.										
参考文献	授業時に紹介する。										
備考	各回の単語学修にはQuizlet（アプリ）を使用する。提出課題は授業内あるいはUNIPA上でコメントする。受講生の理解度により、重点の置き方や順番を変えて実施する場合もある。状況により遠隔授業になる場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-11					
		●			●						
科目名	English through Plays				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の 方法	授業内課題、 及び発表	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	今まで学修した英語コミュニケーション力を総合的に活用して、リーディングシアター、ショートプレイ、ミュージカルパフォーマンス等、英語でのパフォーマンスを作成し、発信することを目的とする。パフォーマンスを作成する際には、聴衆を意識し、いかに伝えるかということを考えることが必要であり、コミュニケーションの学びを深めることとなる。併せて、人前で英語で演技をすることで、英語を話すことへの自信をつけることにもつながる。大人数で一つのパフォーマンスを作り上げることにより、チームで協力する姿勢も培う。										
到達目標	英語演劇に取り組むことで、英語による表現力を鍛え、発表に足るパフォーマンスをすることができる。また、履修生全員で一つの作品を作り上げることで、チームとして動く力を身につけ、Emotional Reading Skill を培う。										
学修者への 期待等	芝居の台本の内容を予習し、授業に臨むことを期待する。15回の授業終了時には、人前で発表することに備え、Emotional Reading を十分に練習することが執拗である。										
回	授業計画					準備学修					
1	“Shoplifter” の台本を読み、内容を理解する。					予習として、“Shoplifter” の内容を理解し、Group Discussion に備える。（概ね40分）					
2	複数のグループに分かれ、“Shoplifter”を読む。					予習として、“Shoplifter” の台本を読み直し、Group Discussion に備える。（概ね40分）。					
3	複数のグループに分かれ、“Shoplifter” のリハーサルを行う。					予習として、“Shoplifter” の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。（概ね40分）。					
4	複数のグループに分かれ、“Shoplifter” のプレゼンテーションを行う。					予習として、“The Weighing Machine” の台本を読み、内容を理解しておく。（概ね40分）					
5	“The Weighing Machine” の台本を読み、内容を理解する。					予習として、“The Weighing Machine” の内容を理解し、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
6	複数のグループに分かれ、“The Weighing Machine”を読む。					予習として、“The Weighing Machine” の内容を理解し、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
7	複数のグループに分かれ、“The Weighing Machine” のリハーサルを行う。					予習として、“The Weighing Machine” の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。（概ね40分）					
8	複数のグループに分かれ、“The Weighing Machine” のプレゼンテーションを行う。					予習として、“First Prize” の内容を理解し、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
9	複数のグループに分かれ、“First Prize”を読む。					予習として、“First Prize” の内容を読み直し、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
10	複数のグループに分かれ、“First Prize” のリハーサルを行う。					予習として、“First Prize” の台本を読み直し、舞台化するイメージを書き出してみる。（概ね40分）					
11	複数のグループに分かれ、“First Prize” のプレゼンテーションを行う。					予習として、“Fire at Sea”を読み、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
12	複数のグループに分かれ、“Fire at Sea”を読む。					予習として、“Fire at Sea” の内容を理解し、Group Discussionに備える。（概ね40分）					
13	複数のグループに分かれ、“Fire at Sea” のリハーサルを行う。					予習として、舞台化するイメージを書き出してみる。（概ね40分）					
14	複数のグループに分かれ、“Fire at Sea” のプレゼンテーションを行う。					A Short Play with Two Characters のプリントを予習する。					
15	Pairwork としてプレゼンテーションを行う										
教科書	台本については、全てHandoutsを配布する。										
参考文献	授業内で指示する。										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。アクティビティが多いので、常に動きやすい服装で参加する。フィードバックとして、各パフォーマンスについてコメントをする。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-19				
		●			●					
科目名	英米文学概論				単位 認定者	相田 明子		評価の方法	レポート (2 回)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		提出物 (ミニッ ツ・ペーパー、 授業内課題等)	25 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	15 %
					授業形態	講義	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目では「英語」という言語を用いた文学作品の成立の過程を確認したうえで、代表的な文学作品について通時的に紹介をする。受講者は英語圏の文学について基礎知識を獲得し、その内容を理解する。さらに作品と同時代の社会・文化の結びつきについて理解を深め、文学作品を学修することの意義を考えることができるようになる。									
到達目標	(1) 英語圏の文学の代表的な作品について基礎知識を獲得し、その内容を理解する。 (2) 英語圏の文学の代表的な作品と同時代の社会・文化との結びつきについて理解を深め、両者の関係性について理解する。 (3) 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。									
学修者への期待等	英米文学の成立の歴史や文化背景を学んだうえで、同時代の作品を、辞書を用いて自力で精読してほしい。主体的な読みの経験が、英語力の向上につながることを期待する。また、文学作品を読み理解することは、英語学修にとってどのような意義があるのだろうか。自分なりの回答を模索しながら受講してほしい。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業のイントロダクション (授業の進め方とルール) 英語圏の文学を学ぶ意義とは何だろう					本シラバスをよく読んでおく。				
2	「古英語」の時代と『ベオウルフ』：講義とテキストの読解、グループワーク					英語の成立の歴史について調べてみる (概ね30分)				
3	「中世英語」の時代とチョーサー：講義とテキストの読解					中世英語について調べてみる (概ね30分)				
4	「近代初期英語」とルネサンス① 時代背景と英語の変遷：講義					「ルネサンス」の語源・起源について調べてみる (概ね30分)				
5	「近代初期英語」とルネサンス② 詩人たち (モア、スペンサー、シドニー)：講義とテキストの読解、グループワーク					指定された範囲のテキストを、辞書を使って読んでくる (概ね40分)				
6	エリザベス朝と演劇① クリストファー・マーロウ：講義とテキストの読解					エリザベス朝の成立について調べてみる (概ね30分)				
7	エリザベス朝と演劇② シェイクスピア「劇」と「英語」：講義とテキストの読解 レポート課題(1)					シェイクスピアについて調べてみる (概ね30分)				
8	王党派詩人～古代ローマ思想とcarpe diem：講義とテキストの読解、グループワーク					古代ローマ思想について調べてみる (概ね30分)				
9	『ロビンソン・クルーソー』(1719)と『ガリバー旅行記』(1726)：講義とテキストの読解					ダニエル・デフォーとジョナサン・スウィフトについて調べてみる (概ね30分)				
10	ロマン派の時代～社会構造の変革と文学作品① 詩人たち (ブレイク、ワーズワース)：講義とテキストの読解、グループワーク					ロマン派とはなんだろう、時代背景を調べてみる (概ね30分)				
11	ロマン派の時代～社会構造の変革と文学作品② anonymousな女性作家たち：講義とテキストの読解					ロマン派の時代の女性作家たちを調べてみる (概ね30分)				
12	ヴィクトリア朝の文学①大英帝国の繁栄と影ー 科学・工学の発展と「進化論」：講義					ヴィクトリア朝について調べてみる (概ね30分)				
13	ヴィクトリア朝の文学②小説 (ディケンズ、ブロンテ姉妹、ルイス・キャロル)：講義とテキストの読解					指定された範囲のテキストを、辞書を使って読んでくる (概ね40分)				
14	児童文学の成り立ち (フェアリーテイル、マザーグース等)：講義とテキストの読解、レポート課題(2)					児童文学の起源について調べてみる (概ね30分)				
15	児童文学の発展 (ヴィクトリア朝以降の児童文学、絵本・挿絵について) 講義と作品の視聴					英語の成立、時代背景と文学作品について、授業内容をふりかえっておく (概ね60分)				

回	授業計画	準備学修
教科書	使用しない	
参考文献	授業内で指示する	
備考	レポート課題は授業内で発表する。提出された課題はその都度フィードバックをする。状況により遠隔授業になる可能性がある。遅刻は授業開始10分以内までとする。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

回	授業計画	準備学修
15	Chapter 8 The Late Newcomers (p. 88～p. 92)	テキストp. 88～p. 92を読んでおく。Mapなどの資料に適宜目を通しておく。内容に付随する情報を調べる。（概ね3時間）
教科書	適宜資料を配布する。	
参考文献		
備考	内容の進捗によってシラパスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はUNIPAに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-22				
		●	●	●						
科目名	Teaching English to Children				単位 認定者	ヒーブ ジョナサン		評価の方法	授業内課題 (レッスン準備)	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題 (その他)	30 %
						授業時間数	30 時間		レッスンの実践	40 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	本科目は、将来のキャリアの選択肢のひとつとして、子供向けの英語指導に興味のある学生向けの授業となる。履修者は、幼児や児童向けの言語教育の理論やスキルの指導法を学修する。また、授業を通して、スピーキング力を向上させ、英語を実践的に使用することができるようになる。									
到達目標	子どもたちに英語を教えるにはどのようにアプローチすべきか、効果的に教えるにはどのようなスキルが必要かを学び、そのスキルの一部を練習する。									
学修者への期待等	学修者はノートを取り、実践例に参加し、教育実習活動を計画・実行し、教師や他の学生と関わることを求められる。									
回	授業計画					準備学修				
1	First Vs Second Language Acquisition					Q/A on Language Acquisition(30 minutes)				
2	What happens in a kids English lesson?					Write about own learning experience(30 minutes)				
3	Presenting Language					Teaching Practice Prep(30 minutes)				
4	Eliciting Language					Teaching Practice Prep(30 minutes)				
5	Practising Language					Teaching Practice Prep(30 minutes)				
6	Team Teaching Practice					Write about experience(30 minutes)				
7	Productive skills - Speaking/Writing					Plan a writing activity (30 minutes)				
8	Receptive skills - Listening/Reading					Plan a listening activity(30 minutes)				
9	Classroom Management					Classroom problems/Solutions(30 minutes)				
10	Materials 1 - Props					Prop ideas(30 minutes)				
11	Materials 2 - Songs					Plan an activity that includes a song(30 minutes)				
12	Final Teaching Practice - Preparation and Brain Storming					Final Teaching Practice Preparation(30 minutes)				
13	Crafts and Playtime					Final Teaching Practice Preparation(30 minutes)				
14	Final Teaching Practice					Final Teaching Practice Preparation(30 minutes)				
15	Final Teaching Practice					None				
教科書	None									
参考文献	None									
備考	Feedback will be ongoing.									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-23				
	●				●					
科目名	British Studies				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験(レポート)	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題およびプ レゼンテーション	50 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	この授業では、地域研究としての特徴を踏まえ、イギリスの社会・文化・歴史を学んでいく。履修した学生はイギリスに対する基礎的な知識を培いながら英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。									
到達目標	イギリスの歴史、および文化に対する基本的な知識と理解を深める。									
学修者への 期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内で行われるグループワーク、及びプレゼンテーションに備え、発信力を培うためのトレーニングをすること。									
回	授業計画					準備学修				
1	British Food ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の料理について考える。(概ね30分)				
2	British Drink ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の飲み物について考える。(概ね30分)				
3	プレゼンテーション「Food & Drink」 ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
4	British Movies ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の映画について考える。(概ね30分)				
5	British Music ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の音楽について考える。(概ね30分)				
6	プレゼンテーション「Movies & Music」 ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
7	British Places ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の場所について考える。(概ね30分)				
8	British People ディスカッション グループワーク					(予習) 英国の人について考える。(概ね30分)				
9	プレゼンテーション「Places & People」 ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
10	British Presentation Brainstormingの準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					(予習) 英国の社会・文化・歴史について考える。 (概ね30分)				
11	British Presentation Scriptの準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
12	British Presentation Slidesの準備をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
13	British Presentation Practiceの練習をする ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
14	British Presentationのプレゼンテーションを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表の準備をしてくること。(概ね60分)				
15	British Presentationのフィードバックを行う ペアワークと ディスカッションを中心に活動する					発表のフィードバックについて考える。(概ね30分)				
教科書	適宜資料を配布する。									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-24				
	●				●					
科目名	American Studies				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の 方法	授業内課題等	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	この授業では、地域研究としての特徴を踏まえ、アメリカの社会・文化・歴史を学び、アメリカ各州の状況、及び人々の生活の多様なあり方を理解していくことを目指す。履修した学生は、アメリカについての基礎知識を学び、グローバルな視点から様々な状況を考える能力を培っていく。									
到達目標	僅か二百数十年の歴史しかないアメリカの社会、及び文化の背景を彩る偉人や出来事について紐解きながら、現代に至るまでの経緯を理解することができる。									
学修者への期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Jamestown Settlement					プリント “Jamestown Settlement” について予習しておくこと。（概ね60分）				
2	The Pilgrims and Plymouth Colony					プリント “The Pilgrims and Plymouth Colony” について予習しておくこと。（概ね60分）				
3	Benjamin Franklin					プリント “Benjamin Franklin” について予習しておくこと。（概ね60分）				
4	American Revolution (Discussion plus Quiz)					プリント “American Revolution” について予習しておくこと。（概ね60分）				
5	Thomas Jefferson and the Louisiana Purchase					プリント “Thomas Jefferson and the Louisiana Purchase” について予習しておくこと。（概ね60分）				
6	Manifest Destiny and God’s Will					プリント “Manifest Destiny and God’s Will” について予習しておくこと。（概ね60分）				
7	Early American Literature (Discussion plus Quiz)					プリント “Blossoming Words” について予習しておくこと。（概ね60分）				
8	Abraham Lincoln and the American Civil War					プリント “American Civil War” について予習しておくこと。（概ね60分）				
9	Yankee Ingenuity in Motion					プリント “Yankee Ingenuity in Motion” について予習しておくこと。（概ね60分）				
10	Woodrow Wilson and War					プリント “Woodrow Wilson and War” について予習しておくこと。（概ね60分）				
11	From the Roaring Twenties to the Depression					プリント “From the Roaring Twenties to the Depression” について予習しておくこと。（概ね60分）				
12	Franklin Delano Roosevelt and the New Deal					プリント “Franklin Delano Roosevelt and the New Deal” について予習しておくこと。（概ね60分）				
13	The Cold War					プリント “The Cold War” について予習しておくこと。（概ね60分）				
14	Martin Luther King and the Civil Rights Movement					プリント “Martin Luther King and the Civil Rights Movement” について予習しておくこと。（概ね60分）				
15	Overall Review (Discussion plus Quiz)									
教科書	プリント教材を使用する。尚、資料はすべて英文で書かれたものを使用する。									
参考文献	授業内で適宜紹介する。									
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。課題については採点し、授業内でフィードバックする。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-25				
	●				●					
科目名	International Studies				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価の方法	試験(レポート)	20 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等(発表等)	50 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	この授業では、プレゼンテーション、記事、ディスカッションなど、さまざまなメディアを通して世界の人々について学ぶ。この授業を受講する学生は、国際的なコミュニケーションと文化についてより深く理解し、自分自身の文化的アイデンティティをより深く考えるようになる。自分自身と世界の人々を理解することで、急速に変化するグローバル化社会での生活に適応する方法を学ぶ。									
到達目標	国際関係の歴史、および文化に対する基本的な知識と理解を深める。 思考、目標設定、コミュニケーション、問題解決のライフスキルを高めることができる。									
学修者への期待等	授業には、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろうトピックに目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業内で行われるグループワーク、及びプレゼンテーションに備え、発信力を培うためのトレーニングをすること。授業内でおこなうグループワークと ディスカッションと発表の際には、積極的な参加が期待されます。									
回	授業計画					準備学修				
1	Greek Rhetoric ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
2	Chinese Thinking ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
3	Latin Personality ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
4	プレゼンテーションI ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。（概ね1時間）				
5	Noth American ① Growth Mindset ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
6	North American ② Imperfection & Grit ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
7	North American ③ Extreme Ownership ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
8	プレゼンテーションII ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。（概ね1時間）				
9	Western: Design Thinking ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
10	World: Exponential Technology ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
11	South American: Community Building ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
12	プレゼンテーションIII ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。（概ね1時間）				
13	Oceania: Indiginous People ゲストスピーカーによる講演会 ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
14	Africa: Global Identity ペアワークとディスカッション					授業計画の内容について予習を行うこと。 (概ね30分)				
15	Summaryのプレゼンテーション ふりかえりとフィードバック					発表の準備をしてくること。（概ね1時間）				
教科書	適宜資料を配布する。									
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-04					
			●		●						
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	鎌田 貢治		評価の方法	試験（筆記）	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	30	%
	現代英語学科	選択	2 年			授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
				授業形態	講義	授業回数	15 回				
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。										
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。										
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。										
回	授業計画					準備学修					
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDR、USJのマネジメント					TDR、USJのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
2	観光ビジネスのイノベーション：楽天トラベル					旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
3	観光ビジネスのグローバル経営：H. I. S.					H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
4	観光のマーケティング：仙台国際観光協会 宮城県観光連盟等					地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
5	Webビジネス：エクスペディア Booking.com スカイスキャナー Agoda					Web専用ビジネスの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
6	旅行業：J T B					J T B の業務内容の変遷について調べておいてください。予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
7	宿泊業：星野リゾート					星野リゾートの方向性を調べておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
8	航空輸送業：A N A					レベニュー・マネジメントの例をA N A以外でも調べておいておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。					
9	鉄道ビジネス成功例：J R東日本 東京メトロ 等					鉄道ビジネスって何？理由を考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
10	テーマパーク：最新なパークとは（刀集団）					最近特に顕著なテーマパークを考察してください。 予習：概ね20分 復習：概ね20分					
11	グローバル時代の地域観光インフラ：北海道ニセコ町等他各地紹介					地域インフラの必要性について考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
12	地域のインバウンド事業：宮城オルレ					宮城オルレと宮城の観光との関連性を考えてください 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
13	観光地の集客イベント事業：阿智村星空ツアー他紹介					イベント成功に必要なものは何かを考えてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分					
14	地域ブランドの成功例：日本各地紹介（北海道 岡山等）					事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造					日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
教科書	特になし										
参考文献	「1からの観光事業論」高橋一夫その他、碩学社 「1からの観光」高橋一夫その他、碩学社 「現代の観光事業」北川宗忠、ミネルヴァ書房 「観光ビジネス論」長谷政弘、同友館										
備考	原則として事前にUNIPAに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。UNIPAなどで課題の提出を行う予定です。課題のフィードバックについては原則、次の授業内にて行います。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

40数年旅行会社に在籍していた経験を活かし、様々な体験を随時伝えていきたい。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-08					
				●	●						
科目名	フランス語Ⅱ				単位 認定者	野中 みどり		評価の 方法	小テスト	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>各課の課題</td> <td>30</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		各課の課題	30	%
						授業時間数	30 時間		特別課題	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回	確認小テスト	20
授業の概要	フランス語Ⅰに続き、フランス語でコミュニケーションを図るための学修を行う。既習の単語や表現を定着させ、さらに動詞や表現を増強する。教科書に沿い、自己表現の方法を学修し、グループワークで自由な練習を行い、内容の理解と応用を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。フランス語Ⅰと同様、日常表現を紹介し、平易な会話なら自発的に行うことができることを目指す。										
到達目標	①学習：フランス語の発音と文法を理解する。挨拶や日常表現を覚えフランスの文化や社会について知識を得る。 ②練習：モデル会話にならって自分を表現し、同様の相手の話を理解できる。練習問題に適切に答えることができる。 ③訓練：単語・動詞・数字の小テストで十分な点をとることができる。										
学修者への 期待等	授業で指示された単語リストや動詞を覚えて小テストに臨み、それらを次回の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。										
回	授業計画					準備学修					
1	動詞の活用と数字の復習。7課(1) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞quel。グループワーク(以下練習)：時刻を言う。トレーニング(以下訓練)：発音、聞き取り。					指示された課題を提出できるよう準備しておく(概ね2時間)。					
2	7課(2) 学習：モデル会話「何時に?」、ir動詞の活用。練習：いつかを尋ねる。訓練：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、活動の表現を覚える(概ね2時間)。					
3	7課(3) 学習：モデル会話「何をする?」、疑問詞「何を」、faireの活用。練習：何をするか尋ねる。訓練：活用、発音、聞き取り。					7課を復習して練習問題を解く、ir型動詞の活用を覚える、数字を復習する(概ね2時間)。					
4	8課(1) 学習：モデル会話「予定・したいこと」、近接未来、allerの活用。練習：乗り物を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、動詞faireの活用を覚える(概ね2時間)。					
5	8課(2) 学習：モデル会話「終えたこと・できること」、近接過去、venirの活用。練習：やったことを言う。訓練：活用、聞き取り。					練習問題を解く、動詞allerの活用を復習する(概ね2時間)。					
6	8課(3) 学習：モデル会話「理由・痛い所を言う」、avoirを使った表現。練習：理由を言う。訓練：活用、発音、聞き取り。					8課を復習して練習問題を解く、動詞venirの活用を覚える(概ね2時間)。					
7	9課(1) 学習：モデル会話「日常の行動」、代名動詞、指示形容詞。練習：行動を言う。訓練：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、体の部位を表す単語を覚える(概ね2時間)。					
8	9課(2) 学習：モデル会話「天気を言う」、非人称表現。練習：時の表現を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。					9課を復習して練習問題を解く、代名動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
9	10課(1) 学習：モデル会話「場所を言う」、定冠詞の縮約。練習：位置を伝える。訓練：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、天気の詳細を復習する(概ね2時間)。					
10	10課(2) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令形。練習：行き方を指示する。訓練：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、位置を表す単語を復習する(概ね2時間)。					
11	10課(3) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令を表す他の表現。練習：場所を示す。訓練：語彙、発音、聞き取り。					10課を復習して練習問題を解く、場所に関する名詞を覚える(概ね2時間)。					
12	11課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う1」、複合過去形1。練習：過去形を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、動詞avoirの活用を復習する(概ね2時間)。					
13	11課(2) 学習：モデル会話「様々な否定表現」、否定表現、中性代名詞en。練習：代名詞enを使う。訓練：発音、聞き取り。					11課を復習して練習問題を解く、過去分詞の音と意味を覚える(概ね2時間)。					
14	12課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う2」、複合過去形2。練習：過去形を使う。訓練：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、複合過去の活用を復習する(概ね2時間)。					
15	表現と数字の確認小テスト実施。12課(2) 学習：中性代名詞y。練習：代名詞yを使う。訓練：表現、発音、聞き取り。					12課を復習して練習問題を解く、確認テストに向けて表現の復習をする(概ね2時間)。					
教科書	『やさしいサリュ(改訂版) Salut, tout facile』田辺保子 他著、駿河台出版社、1800円、ISBN978-4-411-00835-0										
参考文献	仏和辞書(電子辞書も含む)。授業で使い方の案内を開いた後、必要な場合は購入してください。										
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は③、評価の基準は解答の正確性100%。 【各課の課題および特別課題】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は①②、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は①③、評価の基準は解答の正確性100%。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-10				
		●								
科目名	TOEICⅡ				単位認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題等 (ふりかえりテスト等)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度(発表等)	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「TOEICⅠ」で扱った内容をさらにレベルアップし、TOEIC® Listening and Reading Test (TOEIC® L&R)において高得点 (600点以上) を取得するために、リスニング、リーディング、文法、語彙に関する総合的な英語力をブラッシュアップすることを目的とする。TOEICテスト特有のスピードとボリュームに慣れるため、多くの問題演習を行う。									
到達目標	TOEIC® L&R 試験において頻出される問題形式やトピックに取り組み、得意分野と苦手なパートを分析したうえで集中的に演習問題をこなすことで、600点突破を目指します。									
学修者への期待等	スコアアップにつなげる効果的な学習をするために、予習や課題を確実にこなして授業に臨んでください。苦手なパートを克服し得意分野を更にのばすことができるよう、目標スコアを定め、集中して演習問題にとりくみましょう。尚、テキストはTOEIC® L&Rで600点突破を目標とするレベルに設定されています。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要を確認する Unit 1. Daily Life Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					本シラバスをよく読む 教科書を準備する Unit 1 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習する(60分程度)				
2	Unit 2. Travel Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 2 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
3	Unit 3. Eating Out Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 3 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
4	Unit 4. Shopping Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 4 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
5	Unit 5. Entertainment Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 5 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
6	Unit 6. Housing Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 6 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
7	Unit 7. Office Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 7 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
8	Unit 8. Meetings Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する 中間のふりかえりとレビュー					Unit 8 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
9	Unit 9. Clients Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 9 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
10	Unit 10. Events Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 10 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
11	Unit 11. Sales & Marketing Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 11 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
12	Unit 12. Employment Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 12 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
13	Unit 13. Media Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 13 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
14	Unit 14. Technology Part 1～4を中心に取り組み、Part5～7は予習を前提に、解答を解説する					Unit 14 VocabularyとUseful Phrases、Part 5, 6, 7を予習し、解答しておく (60分程度)				
15	これまでのふりかえりとレビュー					これまでの単語や語彙をよく復習し、レビューテストの準備をする (90分程度)				
教科書	『New Heights For The TOEIC® L&R TEST』 Robert Hickling 他, National Geographic Learning									
参考文献	授業中に指示する									
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。小テスト等のフィードバックはその都度、授業内に行う。遅刻は授業開始10分以内とする。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-11					
		●									
科目名	STEP II				単位認定者	小松 義隆		評価の方法	試験(筆記)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は、専門基礎科目で学修しているリスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。授業では、実用英語技能検定の過去問題を活用し、特に語彙、文法、リーディングに関する学修を行う。反復練習を繰り返し、英語力を強化することにより、実用英語検定試験受験への意欲を高めていく。										
到達目標	準1級からは時間との闘いが厳しくなる。①語彙の増強は必要不可欠だが、文脈から推測するなど文章の中で単語を理解できるようになる。②長文問題は読み返している時間がないので、パラグラフの構成を意識しながら（ディスコマーカ―などのヒントも駆使し）必要な情報を正確かつ迅速に見つけ出すことができる。③リスニングの長さや話し手の多さに惑わされず、正確に情報を把握することができる。										
学修者への期待等	英検準1級の過去問題集を使用する。必ず対応箇所の予習復習を行うこと。特に予習時は実際の試験時に各問題に割り当てる目安の時間を意識しながら、辞書を使わずに解いてみること。授業時は辞書などを必ず用意すること。各自で英検の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の導入 2022年度 第3回英検準1級過去問題演習① (問題1)					テキストを購入し授業計画の内容を事前に行っておくこと(1時間程度)					
2	2022年度 第3回英検準1級過去問題演習② (問題2-1～2-2)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
3	2022年度 第3回英検準1級過去問題演習③ (問題3-1～3-3)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
4	2023年度 第1回英検準1級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
5	2023年度 第1回英検準1級過去問題演習② (問題2-1～2-2)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
6	2023年度 第1回英検準1級過去問題演習③ (問題3-1～3-3)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
7	英検準1級過去問題演習 (Listening演習①) (年度問わず過去問から適宜選ぶ)					リスニング試験への取り組み方に関して各自インターネットなどを利用して調べておくこと (1時間程度)					
8	2023年度 第2回英検準1級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
9	2023年度 第2回英検準1級過去問題演習② (問題2-1～2-2)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
10	2023年度 第2回英検準1級過去問題演習③ (問題3-1～3-3)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
11	2023年度 第3回英検準1級過去問題演習① (問題1)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
12	2023年度 第3回英検準1級過去問題演習② (問題2-1～2-2)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
13	2023年度 第3回英検準1級過去問題演習③ (問題3A～3C)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
14	英検準1級過去問題演習 (Listening演習②) (過去問前半部から適宜選ぶ)					授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
15	まとめ (ライティング、二次面接に関する説明など)					今までに学修したことを復習し、語彙や表現をまとめること。インターネットなどで二次試験に関することを見しておくこと。(1時間程度)					
教科書	『2025年度版 英検 準1級 過去6回全問題集』旺文社英検書 2025										
参考文献											
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 フィードバックは授業内にて解答解説時に行います。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

現代英語学科

- ナンバリング
- 学科教員一覧
- 実務経験を有する教員一覧
- オフィスアワー
- 成績評価

【例】CE-1-○○○-01

CE	-	1	-	○○○	-	01
①	半角[-]	②	半角[-]	③	半角[-]	①

① 学科（専攻）識別番号

半角アルファベット（大文字）2桁

全学共通教養教育科目：CO

現代英語学科：CE

② 科目レベル

教養科目：0

専門基礎科目：1

専門展開科目：2

関連科目：3

演習科目：4

③ 科目分類

半角アルファベット（大文字）3桁

教養教育分野	人間と文化	HCU	Human & culture
	人間と社会	HSO	Human & society
	人間と科学	HSC	Human & science
専門基礎科目		EBA	English Basics
専門展開科目		EAD	English Advanced
関連科目		RCO	Related Course
演習科目		ESE	English Seminar *英語以外の演習科目もあるが、現代英語学科設置の演習科目としてひとくくりに扱う

④ 連続番号

半角数字2桁

全学共通教養教育科目は全学科、以下のナンバリングを使用する。

授業科目の名称	ナンバリング
日本語表現法	CO-0-HCU-01
英語	CO-0-HCU-02
法律入門	CO-0-HSO-04
現代の社会	CO-0-HSO-03
情報処理	CO-0-HSC-01

科目区分		授業科目の名称	ナンバリング
教養教育分野	人間と文化 0 HCU	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		World Mythology	CE-0-HCU-03
		歴史と文化	CE-0-HCU-03
	人間と社会 0 HSO	心理学	CE-0-HSO-01
		法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
		Critical Thinking	CE-0-HSO-02
	人間と科学 0 HSC	情報処理	CO-0-HSC-01
		数理リテラシー	CE-0-HSC-01
専門教育分野	専門基礎科目 1 EBA	Oral Communication I	CE-1-EBA-01
		Oral Communication II	CE-1-EBA-02
		Listening I	CE-1-EBA-03
		Listening II	CE-1-EBA-04
		Reading I	CE-1-EBA-05
		Reading II	CE-1-EBA-06
		Grammar I	CE-1-EBA-07
		Grammar II	CE-1-EBA-08
	専門展開科目 2 EAD	Oral Communication III	CE-2-EAD-01
		Oral Communication IV	CE-2-EAD-14
		Listening III	CE-2-EAD-10
		Listening IV	CE-2-EAD-15
		Reading III	CE-2-EAD-03
		Reading IV	CE-2-EAD-07
		Business Communication	CE-2-EAD-02
		Essay Writing	CE-2-EAD-04
		Business Writing	CE-2-EAD-16
		Speaking Skills I	CE-2-EAD-17
		Speaking Skills II	CE-2-EAD-18
		Extensive Reading	CE-2-EAD-06
		English for Tourism	CE-2-EAD-08
		Chorus English	CE-2-EAD-09
		English through Plays	CE-2-EAD-11
		英米文学概論	CE-2-EAD-19
		英語史概論	CE-2-EAD-20
		Vocabulary Building	CE-2-EAD-21
		Teaching English to Children	CE-2-EAD-22
		British Studies	CE-2-EAD-23
		American Studies	CE-2-EAD-24

科目区分		授業科目の名称	ナンバリング
専門 教育 分野		International Studies	CE-2-EAD-25
		海外研修	CE-2-EAD-12
	関連科目 3 RCO	ビジネスプロトコール	CE-3-RCO-01
		秘書実務	CE-3-RCO-06
		観光ビジネス論	CE-3-RCO-04
		エアラインサービス	CE-3-RCO-05
		フランス語Ⅰ	CE-3-RCO-07
		フランス語Ⅱ	CE-3-RCO-08
演習 分野	演習科目 4 ESE	キャリア形成演習Ⅰ	CE-4-ESE-05
		キャリア形成演習Ⅱ	CE-4-ESE-06
		基礎ゼミ	CE-4-ESE-02
		TOEICⅠ	CE-4-ESE-08
		STEPⅠ	CE-4-ESE-09
		TOEICⅡ	CE-4-ESE-10
		STEPⅡ	CE-4-ESE-11

現代英語学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	スミス アンソニー SMITH ANTHONY	スミス 研究室	022-302-5489	a_smith@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ジョーンズ ドミニク JONES DOMINIC	ジョーンズ 研究室	022-302-5490	d_jones@seiyogakuin.ac.jp
3	特任教授	スズキ カズキ 鈴木 一樹	鈴木 研究室	-	kz_suzuki@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	コマツ ヨシタカ 小松 義隆	小松 研究室	022-302-5584	y_komatsu@seiyogakuin.ac.jp
5	准教授	アイダ アキコ 相田 明子	相田 研究室	022-395-5942	a_aida@seiyogakuin.ac.jp

現代英語学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
法律入門	2	鈴木 一樹	公認会計士として上場企業等の法定監査、税理士として税務業務に従事。
ビジネスプロトコール	2	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。 接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
キャリア形成演習Ⅰ	1	川出 裕佳	現在キャリア関係会社にて勤務。大企業、中小企業等の民間、行政で勤務等10年以上の実務経験を持つ。
キャリア形成演習Ⅱ	1	加藤 雅子	元大手航空会社CA、CA教官。 接遇マナー、研修業務等の会社の代表。
秘書実務	2	細川 久美子	2011年より、株式会社総務部門での実務を担当しつつ、現在、人事・教育サービス会社の取締役。
	8	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	

2025（令和7）年度 現代英語学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室（1階事務室内にあります）または授業後の教室で相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満 (※)	0
	評価不能 (E)	(1) 履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可 (C)、GP は1ポイントとなります。